

10月26日(月) A会場 午前

S23. 2015年5月30日小笠原諸島西方沖の深発地震

(招待講演: 講演時間16分・質疑応答4分, 通常講演: 講演時間12分・質疑応答3分)

座長 久保久彦・加藤護・中村洋光・原辰彦・久家慶子

- 9:00 S23-01* 2015年5月30日の小笠原諸島西方沖の深発地震について
廣田伸之・神谷晃・本間直樹・武田清史・川合重紀夫・小屋政裕・迫田浩司
岩本健吾・森田裕貴・田中美穂・橋本徹夫・中村雅基・山田尚幸(気象庁)
- 9:20 S23-02* 2015年5月30日小笠原深発地震と沈み込むスラブ
大林政行(JAMSTEC)
- 9:40 S23-03* 深発地震と異常震域: 2015年5月30日小笠原諸島西方沖の地震
古村孝志(東大地震研)
- 10:00 S23-04 2015年5月30日小笠原諸島西方沖で発生した深発地震による東京湾岸の地震動
植竹富一(東京電力)
- 10:15 S23-05 小笠原諸島周辺で発生する深発地震による地震動の距離減衰特性
久保久彦・鈴木亘・功刀卓・青井真(防災科研)
- 10:30 休憩
- 10:45 S23-06 2015年5月30日小笠原諸島西方沖深発地震の6成分モーメントテンソル解析
原辰彦(建築研)・川勝均(東大地震研)
- 11:00 S23-07 2015年小笠原諸島西方沖深発地震の震源過程モデル
坪井誠司・中村武史・三好崇之(海洋研究開発機構)
- 11:15 S23-08 2015年5月30日小笠原諸島西方沖の深発地震の震源特性と震源域近傍の660km不連続面
久家慶子(京大理)
- 11:30 S23-09 高周波地震動から制約する2015年5月30日に小笠原諸島西方沖で発生した深発地震の発生位置
武村俊介・前田拓人・古村孝志・小原一成(東大地震研)
- 11:45 S23-10 スピネルの安定領域で発生した2013年オホーツク海深発地震の複雑な震源過程
遠藤俊・八木勇治(筑波大生環)・中尾篤史(東工大理)・平野史朗(立命館理工)

A会場 午後

S20. 若手学術奨励賞記念講演

(講演時間20分・質疑応答5分)

座長 中島淳一・津野靖士

会長挨拶

- 13:00 S20-01* スラブ内および衝突帯の地震発生機構の研究
北佐枝子(防災科研)
- 13:25 S20-02* 海域における地震波構造調査データの解析に基づくプレート境界断層の全体像の解明
辻健(九州大)
- 13:50 S20-03* 沖合津波観測による津波波源逆解析とそれを活用した津波即時予測手法に関する研究
対馬弘晃(気象研)

*は招待講演

S22. 阪神・淡路大震災から 20 年を迎えた地震研究の到達点と課題

(招待講演：講演時間 20 分・質疑応答 5 分，通常講演：講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 中島淳一・津野靖士

- | | | |
|-------|---------|---|
| 14:30 | S22-01* | 陸域及び海域における基盤地震津波観測網
青井真 (防災科学技術研究所 地震・火山観測データセンター) |
| 14:55 | S22-02* | 兵庫県南部地震が教える構造物の壊れる理由 (わけ) と対策
川瀬博 (京大防災研) |
| 15:20 | S22-03* | 地震科学の未来, あるいは終焉
橋本学 (京大防災研) |
| 15:45 | S22-04* | 震源の動的破壊過程とスケーリング
井出哲 (東大理) |
| 16:10 | S22-05 | 兵庫県南部地震はどういう地震だったのか?
飯尾能久 (京大防災研) |
| 16:25 | S22-06 | 大地震震源域の地震波トモグラフィ研究: 阪神・淡路大震災からの 20 年
趙大鵬 (東北大学・理) |

10 月 26 日 (月) B 会場 午前

S09. 地震活動

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 小菅正裕・熊澤貴雄・浅野陽一・高濱聡

- | | | |
|-------|--------|--|
| 9:00 | S09-01 | 「首都直下型 4 年内 70%」報道で人々は備えたのか
大木聖子 (慶應大環境情報)・飯沼貴朗 (慶應大大学院)
尾崎拓 (同志社大大学院)・中谷内一也 (同志社大心理) |
| 9:15 | S09-02 | CSEP-Japan の地震発生予測検証実験結果報告
鶴岡弘・平田直 (東大地震研) |
| 9:30 | S09-03 | 秋田県森吉山の誘発地震の波形の時間変化 (2)
小菅正裕 (弘前大理工) |
| 9:45 | S09-04 | 余震活動の局所異常性と解釈について
尾形良彦 (東大地震研, 統計数理研) |
| 10:00 | S09-05 | 体積歪を用いた伊豆群発地震活動の解析
熊澤貴雄 (統数研)・尾形良彦 (東大地震研)・木村一洋・前田憲二・小林昭夫 (気象研) |
| 10:15 | S09-06 | Detecting spatial variations of earthquake clustering characteristics via weighted likelihood estimates
庄建倉 (統数研) |
| 10:30 | | 休憩 |
| 10:45 | S09-07 | 日本周辺の沈み込み帯における群発地震検出
西川友章・井出哲 (東大理) |
| 11:00 | S09-08 | 浜名湖周辺の地震活動静穏化現象とゆっくり滑り
吉川澄夫・林元直樹 (気象研)・明田川保 (沖縄気象台) |

*は招待講演

- 11:15 S09-09 南西諸島北部～日向灘における浅部超低周波地震活動の特徴
浅野陽一・松澤孝紀 (防災科研)・後藤和彦・八木原寛・平野舟一郎 (鹿大南西島弧)
針生義勝 (地震予知総合研究振興会)・小原一成 (東大地震研)
- 11:30 S09-10 日本の地震観測網で捉えられた世界の中規模相似地震活動
五十嵐俊博 (東大地震研)
- 11:45 S09-11 気象庁地震カタログの改善－フォーマットの変更など－
高濱聡・溜渕功史・森脇健・秋山加奈・山田尚幸・中村雅基・橋本徹夫 (気象庁)

B 会場 午後

S08. 地震発生の物理

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 八木勇治・直井誠

- 14:30 S08-01 Integrated seismic source model of the 2015 Gorkha, Nepal, earthquake: Slip-rate and high-frequency distributions
八木勇治・奥脇亮 (筑波大)
- 14:45 S08-02 2008 年 Wenchuan 地震における高周波放射と震源メカニズム変化の関係
奥脇亮・八木勇治 (筑波大)
- 15:00 S08-03 多重スペクトル比解析で明らかになる震源スペクトルの複雑性
内出崇彦・今西和俊 (産総研)
- 15:15 S08-04 2011 年東北沖地震の前震・本震過程の力学的理解
安藤亮輔 (東大理)・内出崇彦 (産総研)・太田雄策 (東北大)
- 15:30 S08-05 東北沖地震による関東下へのフィリピン海プレート沈み込みの加速
内田直希 (東北大)・浅野陽一 (防災科研)・長谷川昭 (東北大)
- 15:45 S08-06 2011 年東北沖地震に伴うプレート境界地震の出現と繰り返し地震の規模変化
嶋山範重・内田直希・松澤暢 (東北大・理)・中村航 (気象庁)
- 16:00 S08-07 Investigation of Repeating Micro-Earthquakes at Parkfield using Empirical Green's Function Waveform Approach
Ahyi Kim (YCU)・Douglas S. Dreger・Taka'aki Taira・Robert M. Nadeau (UCB)
- 16:15 S08-08 南アフリカ Cooke4 金鉱山における微小破壊観測－SATREPS 計画 5 年のまとめ－
直井誠 (京大)・中谷正生 (東大)・森谷祐一 (東北大)・大槻憲四郎 (東北大)
Thabang Kgarume (CSIR)・Joachim Philipp (GMuG)・村上理 (立命館大)
Thabang Masakale (OHMS)・Luiz Ribeiro (Seismogen)・矢部康男 (東北大)
川方裕則 (立命館大)・Anthony Ward (Seismogen)
Ray Durrheim (CSIR・Wit 大)・小笠原宏 (立命館大)
- 16:30 S08-09 An Active Experiment to Trigger a Moderate Earthquake on a Mid Ocean Transform Fault
James Mori (DPRI, Kyoto Univ.)

10月26日(月) C会場 午前

S16. 地盤構造・地盤震動, S03. 地殻変動・GNSS・重力

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 林田拓己・岡本京祐・田中愛幸・野田朱美

S16. 地盤構造・地盤震動

- 9:00 S16-01 薩摩硫黄島の港湾および飛行場における地震観測とサイト増幅特性の推定
山田雅行・伊藤佳洋(ニュージェック)・長尾毅(神戸大学)・野津厚・長坂陽介(港空研)
大岩根尚(鹿児島県三島村)
- 9:15 S16-02 別府湾周辺地域の広帯域稠密地震観測記録を用いた表面波群速度および位相速度の推定
林田拓己(建築研)・吉見雅行(産総研)・徳丸哲義・杉山長志(徳丸技術士事務所)
- 9:30 S16-03 阪神地域(尼崎～東灘)での地震記録に見られる特徴的な後続波 その2
田中宏樹・岩田知孝・浅野公之(京大防災研)
- 9:45 S16-04 P波初動の立ち上がりと震央距離の関係 - 不均質構造を考慮して -
岡本京祐・津野靖士(鉄道総研)
- 10:00 S16-05 谷埋め盛土における地震動の特徴
土井一生・釜井俊孝(京大防災研)

S03. 地殻変動・GNSS・重力

- 10:15 S03-01 人工衛星GRACEで見た地震時および地震後の重力変化
田中優作・日置幸介(北大院理)
- 10:30 休憩
- 10:45 S03-02 衛星重力データを用いて巨大地震の余効変動メカニズムを探る
田中愛幸(東大地震研)・長谷川崇(京大理)・鶴岡弘(東大地震研)
Volker Klemann(GFZ Potsdam)・Zdenek Martinec(DIAS)
- 11:00 S03-03 3.11地震による気圧地震動から求めた上下変動
石井紘・浅井康広(東濃地震研)
- 11:15 S03-04 対数・指数関数混合モデルによる東北沖地震余効変動の予測実験
飛田幹男(国土地理院)
- 11:30 S03-05 2011年東北沖地震後の海底地殻変動:プレート境界深部の余効すべりとアセノスフェアの粘性緩和の複合効果
野田朱美(構造計画研)・松浦充宏(統計数理研)
- 11:45 S03-06 GEONETデータを用いた東北地方太平洋沖地震の地殻変動からの回復過程の考察
三神厚(徳島大工)・神山眞(東北工大)

C会場 午後

S03. 地殻変動・GNSS・重力

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 渡邊俊一・木戸元之・水藤尚

- 14:30 S03-07 巨大地震後の粘性緩和による遠方での地殻変形の特徴
深畑幸俊・西村卓也(京大防災研)・松浦充宏(統数研)
- 14:45 S03-08 大規模海流域における海底局位置決定と走時残差に関する数値実験
安田健二・田所敬一・植村雄一(名大環境)

- 15:00 S03-09 GPS-A 海底地殻変動観測によって得られた相模トラフに沈み込む伊豆前弧の動き
渡邊俊一・石川直史・横田裕輔・田代俊治 (海洋情報部)
- 15:15 S03-10 マルマラ海下の北アナトリア断層のひずみ速度検出に向けた海底測距システムの開発と設置
木戸元之 (東北大災害研)・太田雄策・山本龍典 (東北大院理)
高橋成実・山本揚二郎 (海洋研究開発機構)・Dogan Kalafat・Ali Pinar (Bogazici Univ.)
Sinan Ozeren (Istanbul Tek. Univ.)・金田義行 (名大減災研究セ)
- 15:30 S03-11 海底間音響測距によるトルコ・マルマラ海・北アナトリア断層のひずみ速度の検出
山本龍典 (東北大理)・木戸元之 (東北大災害研)・太田雄策 (東北大理)
高橋成実・山本揚二郎 (JAMSTEC)・Dogan Kalafat・Ali Pinar (Bogazici Univ.)
Ozeren Sinan (Istanbul Tech. Univ.)・金田義行 (名大減災研究セ)
- 15:45 S03-12 沖積層の解析に基づく三陸海岸南部の長期的な沈降傾向と測地観測による地殻変動との関係
丹羽雄一・遠田晋次 (東北大・災害研)・須貝俊彦 (東京大)
- 16:00 S03-13 地形・地質学的情報に基づく三陸海岸における 10 万年スケールの地殻変動の再検討
石村大輔・宮崎真由美・遠田晋次・丹羽雄一 (東北大)
- 16:15 S03-14 西南日本におけるプレート間固着, ブロック運動, 中央構造線の固着分布の同時推定
塩見雅彦・田部井隆雄・大久保慎人 (高知大理)・伊藤武男 (名古屋大)
- 16:30 S03-15 2004 年紀伊半島南東沖の地震の余効変動シミュレーション
水藤尚 (国土地理院)

10月26日(月) D会場 午前

S18. 地震教育・地震学史, S02. 地震計測・処理システム

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 谷本俊郎・堀内茂木・篠原雅尚・植平賢司

S18. 地震教育・地震学史

- 9:00 S18-01 (公社) 日本地震学会が主催する教員免許状更新講習への受講動機の変化
根本泰雄 (桜美林大 (桜大) 自然科学)・山田伸之 (福教大)・荒井賢一 (私立栄東高)
美澤綾子 (静岡県立静岡高)・清水直子 (桜大院・桜大学生相談室)
宮嶋敏 (埼玉県立深谷第一高)・南島正重 (東京都立両国高)
伊東明彦 (宇都宮大教育)・山野誠 (東大地震研)
- 9:15 S18-02 地震動予測地図の確率はどう認知されているのか
永松冬青・大木聖子 (慶應大環境情報)・飯沼貴朗 (慶應大大学院)
大伴季央 (慶應大総合政策)・広田すみれ (東京都市大)

S02. 地震計測・処理システム

- 9:30 S02-01 etas_solve: A robust program to estimate the ETAS parameters
笠原天人・八木勇治 (筑波大)
- 9:45 S02-02 下北半島周辺における微小地震観測網の構築 (その3)
野口科子・関根秀太郎・澤田義博・笠原敬司・佐々木俊二・田澤芳博・矢島浩 (振興会)
- 10:00 S02-03 大都市における建物や構造物の被災度予測を組み込んだ緊急地震速報システムの提案
堀内茂木・羽生健一・佐藤優子 (ホームサイスマ)・青木登志美 (日本防災システ)
- 10:15 S02-04 Joint Analysis of Microseism by Ring Laser and Seismograph
#Toshiro Tanimoto (UCSB)・Celine Hadziioannou・Heiner Igel・Joachim Wasserman (LMU)
Ulrich Schreiber・Andre Gebauer (TUM)・Bryant Chow (UCSB)
- 10:30 休憩

- 10:45 S02-05 日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) の設置 ～宮城・岩手沖ルートと茨城・福島沖ルート～
植平賢司・望月将志・金沢敏彦・藤本博己・野口伸一・眞保敬・功刀卓・汐見勝彦・青井真
関口渉次・松本拓己・岡田義光 (防災科研)・篠原雅尚・山田知朗 (東大地震研)
- 11:00 S02-06 透過波による三陸沖ケーブル式海底地震計波形の地理座標系変換と海底表層の地震波速度の推
定
岩瀬良一 (JAMSTEC/CREST)
- 11:15 S02-07 自律動作の高性能広帯域海底地震計開発計画: NX2G
塩原肇・篠原雅尚 (東大地震研)・杉岡裕子・伊藤亜妃 (JAMSTEC)
- 11:30 S02-08 自律型無人潜水機を用いた高精度海中重力計測システム
篠原雅尚・石原丈実・新谷昌人・山田知朗 (東大地震研)
藤本博己・金沢敏彦・植平賢司 (防災科研)・月岡哲・大美賀忍・吉梅剛 (海洋機構)
飯笹幸吉 (東大生産研)
- 11:45 S02-09 圧力保持機能を備えた校正用水圧計による C0002 孔内観測点での繰り返し圧力計測
町田祐弥・荒木英一郎・西田周平・松本浩幸・木村俊則・川口勝義 (JAMSTEC)

D 会場 午後

S10. 活断層・歴史地震

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 阿部信太郎・石辺岳男

- 14:30 S10-01 鴨川低地断層帯および三浦半島断層群海域延長部に分布する断層の活動性について
阿部信太郎・森宏 (産総研)・荒井良祐 (川崎地質)
- 14:45 S10-02 「海域における断層情報総合評価プロジェクト」にもとづく日本海海域における震源断層モデル
の構築
大角恒雄 (防災科研)・# 乗松君衣・松山尚典 (応用地質)・藤原広行 (防災科研)
- 15:00 S10-03 山田断層系郷村断層 (京丹後市) の地下比抵抗構造探査とその解釈 - 1300m ボーリングデータ
との比較 -
山口覚 (大阪市大・院・理)・大内悠平 (大阪市大・理)
小田佑介・三島稔明 (大阪市大・院・理)・村上英記 (高知大・自然・理)
加藤茂弘 (兵庫人と自然の博物館)
- 15:15 S10-04 阿寺断層田瀬露頭における断層ガウジ帯の鉱物学的・地球化学的特徴
加藤尚希・廣野哲朗 (大阪大・理)・石川剛志 (JAMSTEC)・大谷具幸 (岐阜大・工)
- 15:30 S10-05 活断層における地震すべり由来非晶質微粒子の保存
朝山暁・金木俊也・廣野哲朗 (阪大理)
- 15:45 S10-06 テンプレートマッチング法に基づく明治・大正期に発生した大地震の震源・発震機構解推定
石辺岳男・佐竹健治・村岸純・鶴岡弘・中川茂樹・酒井慎一・平田直 (東大地震研)
- 16:00 S10-07 寛文二年 (1662) 近江・若狭地震における京都盆地での被害評価と震度推定
西山昭仁 (東大地震研)
- 16:15 S10-08 1596 年慶長伊予豊後地震: 伊予地震と豊後地震への分離
中西一郎 (京大理)・弘瀬冬樹 (気象研)
- 16:30 S10-09 1596 年発生の地震による伊予・讃岐の被害状況
松岡祐也 (東北大文)

10月27日(火) A会場 午前

S08. 地震発生の物理

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 松本聡・佐藤利典・川村光・平野史朗

- 9:00 S08-10 2015年2月6日徳島県南部の地震(Mj5.1)のテクトニックな意味
今西和俊(産総研)・安藤亮輔(東大理)・内出崇彦(産総研)
- 9:15 S08-11 鳥取県西部地震震源域における応力場のモデル化
松本聡(九大地震火山セ)・飯尾能久(京大防災研)・小川拓哉(大阪ガス)・行竹洋平(神奈川温地研)
- 9:30 S08-12 応力場の時間変化に基づく御獄火山のモニタリング
寺川寿子・加藤愛太郎・山中佳子・前田裕太・堀川信一郎・松廣健二郎・奥田隆(名大環境)
- 9:45 S08-13 応力データインバージョンにより推定した伊豆半島域のプレート間衝突率
橋本千尋・寺川寿子(名大環境)
- 10:00 S08-14 1703年元禄地震のすべり分布と相模トラフ沿いの巨大地震の繰り返し間隔の推定
佐藤利典・樋口春隆・宮内崇裕・遠藤香織・津村紀子(千葉大)・伊藤谷生(帝京平成大)
野田朱美(構造計画研)・松浦充宏(統数研)
- 10:15 S08-15 プレート沈み込み帯の巨大地震発生に伴う地殻変動サイクル
松浦充宏(統計数理研)・野田朱美(構造計画研)・深畑幸俊(京大防災研)
- 10:30 休憩
- 10:45 S08-16 余効変動の高詳細有限要素シミュレーションを用いたアセノスフェア粘性率・断層すべり同時推定手法の開発
縣亮一郎(東大工)・市村強(東大地震研)・堀高峰(JAMSTEC)・平原和朗(京大理)
橋本千尋(名大環)・堀宗朗(東大地震研)
- 11:00 S08-17 Burridge-Knopoffモデルによるスロースリップの数値シミュレーション
川村光・植田祐史(阪大理)
- 11:15 S08-18 地震性パッチの空間配置によるマクロな摩擦挙動変化
矢部優・井出哲(東大理)
- 11:30 S08-19 粘土・石英混合物の圧力溶解・析出クリープを考慮に入れた速度状態依存摩擦構成則とその地震サイクルシミュレーションへの応用
野田博之(JAMSTEC)
- 11:45 S08-20 特徴的緩和時間を持つ摩擦法則に伴うパルス型破壊の伝播速度
平野史朗(立命館大理工)・山下輝夫(東大地震研)
- 12:00 S08-21 絶対応力がコントロールする巨大海溝型地震-津波地震-浅部がすべらない地震
三井雄太(静大理)

A会場 午後

S08. 地震発生の物理

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 上西幸司・川方裕則・麻生尚文・平原和朗

- 13:30 S08-22 すべりと時間に依存する断層構成則による階層的強度の表現とそれを用いた破壊過程
大嶋健嗣・橋本千尋(名大環境)・福山英一(防災科研)

13:45	S08-23	複数のアスペリティをもつゲルの摩擦実験	# 山口哲生 (九大工)
14:00	S08-24	Asymmetric Dynamic Fracture in a Symmetrically Stratified Medium: Numerical and Experimental Observations	#Koji Uenishi (Sch. Eng., Univ. Tokyo) · Takayuki Takahashi (MLIT) Koji Fujimoto (Sch. Eng., Univ. Tokyo)
14:15	S08-25	Brittle Asperities and Stick-Slip Motion: Insight from Friction Experiments along A Gabbro/Marble Interface	#Shiqing Xu · Shigeru Takizawa · Eiichi Fukuyama · Futoshi Yamashita (NIED) Kazuo Mizoguchi (CRIEPI) · Hironori Kawakata (Ritsumei. Univ.)
14:30	S08-26	短命な Supershear Rupture	# 福山英一 · 徐世慶 · 山下太 (防災科研) · 溝口一生 (電中研) · 滝沢茂 (防災科研) 川方裕則 (立命館)
14:45	S08-27	大型試料のせん断すべり時における稠密な透過弾性波計測	# 川方裕則 (立命館大) · 福山英一 (防災科研) · 溝口一生 (電中研) 山下太 · 徐世慶 · 滝沢茂 (防災科研)
15:00		休憩	
15:15	S08-28	カスカウルシュ氷河でのアレー観測により検出された氷震と雑微動源	# 麻生尚文 · Victor C. Tsai (カリフォルニア工科大) Christian Schoof · Arran Whiteford (UBC) · Gwenn E. Flowers (SFU)
15:30	S08-29	Very Low Frequency earthquakes associated with tectonic tremors in Guerrero, Mexico.	#Maury Julie · Ide Satoshi (Tokyo Univ.) · Cruz Victor · Kostoglodov Vladimir Perez-Campos Xyoli (UNAM)
15:45	S08-30	日向灘～足摺岬沖の浅部超低周波地震活動と地球潮汐の関係	# 田中佐千子 · 浅野陽一 · 松澤孝紀 (防災科研) · 小原一成 (東大地震研)
16:00	S08-31	豊後水道における深部低周波地震と潮汐との相関と長期的スロースリップとの関係	# 弘瀬冬樹 · 小林昭夫 · 前田憲二 (気象研)
16:15	S08-32	台湾の微動のメカニズムと潮汐応答	# 井出哲 · 矢部優 (東大理) Hsin-Ju Tai · Kate Huihsuan Chen (National Taiwan Normal Univ.)
16:30	S08-33	固着すべり振動子の周期外力への応答	# 平原和朗 (京大理)

10月27日(火) B会場 午前

S22. 阪神・淡路大震災から20年を迎えた地震研究の到達点と課題, S14. 地震予知・予測

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 高橋浩晃・小笠原宏・勝俣啓・井元政二郎

S22. 阪神・淡路大震災から20年を迎えた地震研究の到達点と課題

9:00	S22-07	地殻ひずみ速度とGR式を用いた地震発生確率長期評価手法の検討(1)九州地方	# 高橋浩晃 · 篠原大地 (北大理)
9:15	S22-08	地殻歪み速度を用いた地震の長期発生予測の提唱と課題	# 鷺谷威 (名大減災セ)

- 9:30 S22-09 モニタリングとモデルに基づく地殻活動の推移予測：現状と今後の方向性
堀高峰 (JAMSTEC)・市村強 (東大地震研)
- 9:45 S22-10 地震発生 20 年後の断層掘削で何がわかるか？ - 野島断層再掘削の意義 -
小村健太郎 (防災科研)
- 10:00 S22-11 南アフリカ大深度金鉱山での地震被害低減のための震源至近距離観測研究 - SATREPS 等 6 カ年の活動のまとめ -
小笠原宏 (立命大)・加藤春實 (3D 地科学研究所)・Gerhard Hofmann (Anglogold Ashanti)
矢部康男 (東北大)・Artur Cichowicz (CGS)・堀内茂木 (HomeSeismo 社)
大久保慎人 (高知大)・中谷正生 (東大)・直井誠 (京大)・森谷祐一 (東北大)
村上理 (立命大)・佐藤隆司 (産総研)・川方裕則 (立命大)・吉光奈奈 (東大)
Ray Durrheim (CSIR, Wits 大)・Anthony Ward (Sibanye Gold 社)・Alex Milev (CSIR)
山口照寛 (北大)・中尾茂 (鹿児島大)・伊藤高敏 (東北大)・Gerrie van Aswegen (IMS 社)
SATREPS 研究グループ・ICDP 計画準備グループ
- 10:15 S22-12 活断層近傍における強震動予測手法の工学的適用に関する諸課題について (その 2)
久田嘉章 (工学院大学)
- 10:30 休憩
- 10:45 S22-13 巨大地震での高架橋 RC 橋脚の鉛直衝撃破壊とその出現形態
前原博 (地球システム財)・園田恵一郎 (大市大名誉教授)・櫻井春輔 (神戸大名誉教授)
- 11:00 S22-14 兵庫県南部地震 (1995) における上下動地震は存在した。
櫻井春輔 (神戸大名誉教授)・Chouw Nawawi (オークランド大)・石川信隆 (防衛大名誉教授)
- 11:15 S22-15 直下型地震における構造物への衝撃的突き上げ力
園田恵一郎 (大阪市立大学)

S14. 地震予知・予測

- 11:30 S14-01 日本付近の地震活動長期静穏化と巨大地震
勝俣啓 (北大)
- 11:45 S14-02 関東の中規模地震モデルの検証—プレート間地震に対する確率利得について—
井元政二郎・藤原広行 (防災科研)・山本菜穂子 (地震予知振興会)
- 12:00 S14-03 日本海東縁部の地震津波発生確率の評価法
泉宮尊司 (新潟大工)

B 会場 午後

S14. 地震予知・予測, S21. 地殻活動ビッグデータが拓く新世界

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 加藤護・織原義明・汐見勝彦・関根秀太郎

S14. 地震予知・予測

- 13:30 S14-04 2002 ~ 2003 年から始まった近畿地方の地殻活動異常 - 大地震の準備過程が進行中か? -
佃為成 (元東大地震研)
- 13:45 S14-05 安政の古文書から次の南海地震の規模を探る
中村不二夫 (海里マリン病院)
- 14:00 S14-06 短期地震予測の有効性の目安となる数値を導出するひとつの方法
加藤護 (京大院人・環)
- 14:15 S14-07 確率密度比推定を用いた前震識別と短期地震予測への実装
野村俊一 (東工大情報理工)・尾形良彦 (統数研)

- 14:30 S14-08 複数測定地点における大気イオン濃度を用いた地震予測
亀田晃生 (神奈川工大院)・矢田直之 (神奈川工大)
- 14:45 S14-09 ガウス混合モデルの学習に基づく地震予知の可能性について
山根延元・前田章吾 (岡大工)
- 15:00 休憩
- 15:15 S14-10 公的研究機関以外が所有する地下水位データにみられた 2011 年東北地方太平洋沖地震の先行現象
織原義明・鴨川仁 (東京学芸大物理)・長尾年恭 (東海大予知セ)
- 15:30 S14-11 1946 年南海地震前の井戸水減少の先行日数
梅田康弘・板場智史 (産総研活断層・火山研究部門)

S21. 地殻活動ビッグデータが拓く新世界

- 15:45 S21-01 四国西部稠密機動的な地震観測データを用いた高分解能レシーバ関数イメージの構築
汐見勝彦・武田哲也・上野友岳 (防災科研)
- 16:00 S21-02 アジョイントトモグラフィーによる関東地域の地震波速度構造の推定
三好崇之・大林政行 (JAMSTEC)・東野陽子 (文科省)・坪井誠司 (JAMSTEC)
- 16:15 S21-03 気象庁一元化震源カタログを用いた最大振幅による減衰構造の再解析
関根秀太郎 (地震予知振興会)
- 16:30 S21-04 Seismological evidence of an active footwall shortcut thrust in the Northern Itoigawa-Shizuoka Tectonic Line
Yannis Panayotopoulos・Naoshi Hirata・Takaya Iwasaki・Shin'ichi Sakai
Hiroshi Sato (ERI, Univ. Tokyo)

10月27日(火) C会場 午前

S10. 活断層・歴史地震, S15. 強震動・地震災害

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 行谷佑一・武村雅之・浅野公之・前田宜浩

S10. 活断層・歴史地震

- 9:00 S10-10 1096 年嘉保(永長)地震が「南海トラフ全域破壊型」だった可能性
石橋克彦 (神戸大名誉教授)
- 9:15 S10-11 富士川の流路の変遷から推定される 1854 年安政東海地震による地変
行谷佑一 (産総研)・安藤亮輔 (東大理)・宍倉正展 (産総研)
- 9:30 S10-12 1855 年安政江戸地震における関東地方の被害
村岸純・佐竹健治・石辺岳男・原田智也・西山昭仁 (東大地震研)

S15. 強震動・地震災害

- 9:45 S15-01 1943 年鳥取地震の震源モデル再検討 (1)
香川敬生・野口竜也 (鳥取大院工)・西田良平 (鳥取大)
- 10:00 S15-02 1923 年大正関東地震の震度インバージョン解析に基づく断層モデルと短周期レベル
神田克久・加藤研一 (小堀鐸二研)
- 10:15 S15-03 神奈川県横須賀市の関東大震災を歩く - 慰霊碑と死者数 -
武村雅之 (名大減災連携セ)
- 10:30 休憩

10:45	S15-04	2015年7月13日の大分県南部のスラブ内地震による強震動の特徴 # 笥楽磨 (神戸大・理)
11:00	S15-05	観測点間グリーン関数情報を用いた西南日本地殻速度構造モデルの改良 # 浅野公之・岩田知孝 (京大防災研)
11:15	S15-06	強震動評価のための関東地域における浅部・深部統合地盤モデルの構築 # 先名重樹・神薫・若井淳・前田宜浩 (防災科研)・松山尚典 (応用地質)・藤原広行 (防災科研)
11:30	S15-07	長周期地震動計算のための浅部・深部統合地盤モデルの検証 # 前田宜浩・先名重樹・藤原広行 (防災科研)
11:45	S15-08	入力地震波動場に基づく、3次元地盤非線形建物-地盤相互作用解析法 # 飯田昌弘 (東大地震研)
12:00	S15-09	地震動に含まれる回転成分の評価 # 堀家正則 (大阪工大)

C 会場 午後

S15. 強震動・地震災害

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 倉橋奨・重藤迪子・岩城麻子・野津厚

13:30	S15-10	2014年中国雲南省昭通地震 (M6.5) における建物被害と強震動特性の関係—その1: 現地調査報告および建物被害分析 # 王欣 (東北大学)・馬強 (中国地震局)・司宏俊 (東大地震研)・党紀 (埼玉大学) 呉浩・倉橋奨・入倉孝次郎 (愛知工大)
13:45	S15-11	2014年中国雲南省昭通地震 (M6.5) における建物被害と強震動特性の関係その2: 龍頭山観測点における大加速度の生成メカニズム # 倉橋奨・入倉孝次郎 (愛知工大)・王欣 (東北大学)・司宏俊 (東大地震研) 馬強 (中国地震局)・呉浩 (愛知工大)
14:00	S15-12	2014年中国雲南省昭通地震 (M6.5) における建物被害と強震動特性の関係—その3: 被害が集中した強震観測点周辺の地盤特性 # 呉浩 (愛知工大)・王欣 (東北大)・倉橋奨・入倉孝次郎 (愛知工大)・司宏俊 (東大地震研) 党紀 (埼玉大)・馬強 (中国地震局)・林国良 (雲南省地震局)
14:15	S15-13	2015年ネパール・Gorkha地震によるカトマンズでの強震記録 # 重藤迪子・高井伸雄・Subeg Bijukchhen・一柳昌義・笹谷努 (北大) Sudhir Rajaure・Megh Raj Dhital (トリブバン大)
14:30	S15-14	2014年長野県北部の地震 (MJ 6.7) の震源過程~震源近傍の広帯域地震波形を考慮した解析~ # 引間和人 (東京電力)・中村亮一 (東電設計)・植竹富一 (東京電力)
14:45	S15-15	補正経験的グリーン関数を用いた2003年7月26日 Mw6.0 宮城県北部の地震の地震動評価 # 司宏俊 (サイスマリサーチ)・福士知司・石川和也 (東北電力)・栗山利男 (構造計画)
15:00		休憩
15:15	S15-16	リアルタイム地震被害推定・状況把握システムの開発 # 藤原広行・中村洋光・功刀卓・青井真・先名重樹・高橋郁夫・伊勢正・臼田裕一郎 (防災科研)
15:30	S15-17	リアルタイム地震被害推定・状況把握システムのためのデータベース構築及び被害推定手法開発 # 中村洋光・功刀卓・先名重樹・高橋郁夫・青井真・藤原広行 (防災科研)

- 15:45 S15-18 リアルタイム地震被害推定・状況把握のための強震連続観測
功刀卓・中村洋光・内藤昌平・鈴木亘・青井真・藤原広行 (防災科研)
- 16:00 S15-19 海溝型巨大地震の長周期地震動シミュレーションのための震源モデル：2003年十勝沖地震の強震記録を用いた検証
岩城麻子・前田宜浩・森川信之・青井真・藤原広行 (防災科研)
- 16:15 S15-20 2011年 Mw9.0 東北地震の広帯域強震動の震源モデル
入倉孝次郎・倉橋奨 (愛知工大)
- 16:30 S15-21 表層地盤の非線形挙動を考慮した東北地方太平洋沖地震の強震動シミュレーション - 石巻の場合
野津厚 (港空研)

10月27日(火) D会場 午前

S03. 地殻変動・GNSS・重力, S19. 地震一般・その他, S01. 地震の理論・解析法

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 中尾茂・小林知勝・吉光奈奈・中原恒

S03. 地殻変動・GNSS・重力

- 9:00 S03-16 日本列島の高密度 GNSS 速度場のクラスタ解析
高橋温志・橋本学 (京大防災研)
- 9:15 S03-17 北部南西諸島域における GNSS による地殻変動観測
中尾茂 (鹿大理工)・八木原寛・平野舟一郎・後藤和彦 (鹿大南西島弧観)
- 9:30 S03-18 有限要素法による喜界島の高速隆起の再現とドローンによる微小海岸段丘の調査
伊藤武男・古本宗充・奥田隆・松廣健二郎・大間俊樹 (名大環境)
- 9:45 S03-19 ALOS-2/PALSAR-2 によるネパール地震の地殻変動
橋本学 (京大防災研)
- 10:00 S03-20 ALOS-2 干渉 SAR によるネパール (Gorkha) 地震に伴う地殻変動の計測
森下遊・小林知勝・矢来博司 (国土地理院)
- 10:15 S03-21 ALOS-2 干渉 SAR データから得られたネパール (Gorkha) 地震の震源断層モデル
小林知勝・森下遊・矢来博司 (国土地理院)
- 10:30 休憩

S19. 地震一般・その他

- 10:45 S19-01 高周波振幅を用いた火山性地震・微動の震源・伝播特性の解析
熊谷博之 (名大環境)・クリスチャン ロベス・ジョン ロンドニョ (コロンビア地質調査所)
マリオ ルイス・パトリシア モテス (エクアドル地球物理研究所)・前田裕太 (名大環境)

S01. 地震の理論・解析法

- 11:00 S01-01 不均質な地殻中における見掛け P 波及び S 波輻射特性 -3次元地震動シミュレーションによる検討 -
小林学 (横浜市大)・武村俊介 (東大地震研)・吉本和生 (横浜市大)
- 11:15 S01-02 地殻のランダム不均質性による地震波の振幅の揺らぎ
吉本和生 (横浜市大)・武村俊介 (東大地震研)・小林学 (横浜市大)
- 11:30 S01-03 円柱試料の 3次元形状により生まれた反射波の数値計算による伝播特性の評価
吉光奈奈・古村孝志・前田拓人 (東大地震研)

- 11:45 S01-04 地震波速度変化に対するコーダ波の感度カーネル：3次元スカラー波1次散乱モデルに基づく導出
中原恒（東北大・理）
- 12:00 S01-05 Hi-net データを用いた脈動実体波成分の解析
西田究（東大地震研）

D 会場 午後

S01. 地震の理論・解析法, S12. 岩石実験・地殻応力, S13. 地球化学・地下水, S06. 地殻構造

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 澤崎郁・滝沢茂・木下正高・中村武史

S01. 地震の理論・解析法

- 13:30 S01-06 雑微動を用いた S 波スプリッティング解析
池田達紀・辻健（九大）
- 13:45 S01-07 2014 年長野県北部の地震に伴う地震波速度低下 - 回復過程の深さ依存性
澤崎郁・齊藤竜彦・上野友岳・汐見勝彦（防災科研）
- 14:00 S01-08 中国地方における散乱係数と内部減衰の推定
佐々木悠人・河原純（茨城大）・齊藤竜彦（防災科研）・江本賢太郎（東北大）
- 14:15 S01-09 A new fifth parameter for transverse isotropy
川勝均（東大地震研）

S12. 岩石実験・地殻応力

- 14:30 S12-01 大型岩石摩擦実験中のガウジ生成によって消費された非弾性エネルギー
滝沢茂・福山英一・山下太・徐世慶（防災科研）・溝口一生（電中研）・川方裕則（立命館大）
- 14:45 S12-02 炭質物の元素組成から検出された南海トラフ巨大分岐断層の地震性すべりの痕跡
金木俊也・廣野哲朗（大阪大学）・向吉秀樹・三瓶良和（島根大学）・池原実（高知大学）
- 15:00 休憩
- 15:15 S12-03 断層の強度回復に関する実験研究
増田幸治（産総研）

S13. 地球化学・地下水

- 15:30 S13-01 南海トラフ室戸沖デコルマ先端における簡易間隙水圧プローブによる圧力勾配・透水率推定の試み
木下正高・北田数也・松本浩幸（JAMSTEC）・KR15-04 乗船研究者

S06. 地殻構造

- 15:45 S06-01 紀伊半島周辺の海域・陸域下に沈み込むフィリピン海プレート内の流体分布
悪原岳・望月公廣（東大地震研）
- 16:00 S06-02 ScSp 変換波を用いたフィリピン海プレート上面深度推定の試み
鳥家充裕・加藤愛太郎（名古屋大）・前田拓人（東大地震研）・山岡耕春（名古屋大）
小原一成（東大地震研）・武田哲也（防災科研）
- 16:15 S06-03 南海トラフ域における長周期地震動成分の伝播特性と震源メカニズム解析に与える影響の評価
中村武史（海洋機構）・岡元太郎（東工大）・竹中博士（岡山大）

16:30 S06-04 近畿地方北部における地殻内及び最上部マントルの地震波速度不連続面の推定 (2)
青木将・飯尾能久・渋谷拓郎・片尾浩・三浦勉・米田格・澤田麻沙代 (京大防災研)

10月28日(水) A会場 午前

S21. 地殻活動ビッグデータが拓く新世界

(招待講演：講演時間 16分・質疑応答 4分，通常講演：講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 酒井慎一・中川茂樹

- 9:00 S21-05 どこまで観測すれば気が済むのか
酒井慎一 (東大地震研)
- 9:15 S21-06* WIN システムの経緯
卜部卓
- 9:35 S21-07* 日本列島周辺におけるスロー地震モニタリングと数値モデリング
松澤孝紀・浅野陽一・田中佐千子・木村武志 (防災科研)・小原一成・前田拓人 (東大地震研)
伊藤喜宏 (京大防災研)・廣瀬仁 (神戸大安全セ)・芝崎文一郎 (建築研)
- 9:55 S21-08* GNSS 時系列データの状態空間モデリングによる非地震性断層すべりの時空間イメージング
福田淳一 (東大地震研)
- 10:15 S21-09 長期間連続地震波形データ等解析システムの開発
中川茂樹・鶴岡弘 (東大地震研)・加藤愛太郎 (名古屋大学)・平田直 (東大地震研)

A会場 午後

S21. 地殻活動ビッグデータが拓く新世界, S07. 地球及び惑星の深部構造と物性

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 前田拓人・平田直・松野哲男・浜田広太

S21. 地殻活動ビッグデータが拓く新世界

- 13:30 S21-10 新たな地震現象発見に効果的な稠密地震観測データモニタリング
小原一成・前田拓人 (東京大学地震研究所)・汐見勝彦 (防災科学技術研究所)
- 13:45 S21-11 稠密地震観測網への Seismic Gradiometry 法の適用に基づく長周期地震波形ならびに短周期地震波エンベロープの時空間解析
前田拓人・西田究・高木涼太・小原一成 (東大地震研)
- 14:00 S21-12 リアルタイム多点観測を生かした地震動即時予測：揺れの数値予報
干場充之・小木曾仁 (気象研究所)
- 14:15 S21-13 MeSO-net データの自動処理 (3)：P波・S波見かけ速度適合法と周辺観測点事後確率を考慮した到着時測定
平田直・中川茂樹・高波鐵夫・酒井慎一・岩崎貴哉 (東大地震研)
北川源四郎 (情報・システム研究機構)・横井康孝・程塚保行 (海洋先端研)
- 14:30 S21-14 History of network detection completeness in Japan
#Danijel Schorlemmer (GFZ)・Naoshi Hirata (U Tokyo)・Yuzo Ishigaki (JMA)
Kazuyoshi Nanjo (U Yokohama)・Hiroshi Tsuruoka (U Tokyo)
Thomas Beutin (GFZ)・Fabian Euchner (ETH)
- 14:45 S21-15 Matched Filter Technique に基づく地震活動の新しい見方
加藤愛太郎 (名大)・中川茂樹・五十嵐俊博 (東大地震研)・熊澤貴雄 (統数研)
平田直 (東大地震研)
- 15:00 休憩

*は招待講演

S07. 地球及び惑星の深部構造と物性

- 15:15 S07-01 多孔質体の巨視的複合弾性：マルチバツファモデルに基づく有限要素法解析
米田明 (岡山大学地球物質科学研究センター)
- 15:30 S07-02 海底電磁気・地震同時観測データから推定する北西太平洋「ふつう」の海洋マントル遷移層の含水量
松野哲男 (東大地震研)・末次大輔 (JAMSTEC)・歌田久司・馬場聖至 (東大地震研)
多田訓子 (JAMSTEC)・清水久芳・塩原肇・一瀬建日 (東大地震研)
杉岡裕子・伊藤亜妃 (JAMSTEC)
- 15:45 S07-03 Full-waveform inversion for localized 3-D S-velocity structure in D" beneath the Caribbean using US-Array data
Anselme F.E. Borgeaud (Tokyo Univ.)・Kensuke Konishi (Academia Sinica)
Robert J. Geller・Kenji Kawai (Tokyo Univ.)
- 16:00 S07-04 Towards the understanding of slab anisotropy from subduction zone guided waves
Kate Huihsuan Chen (Dep. of Earth Sciences, National Taiwan Normal Univ.)
Yulung Tseng (Dep. of Geosciences, National Taiwan Univ.)
Takashi Furumura (ERI, Univ. of Tokyo)
- 16:15 S07-05 波形インバージョンによるハワイ下の D" 層の 3 次元 S 波速度構造推定
鈴木裕輝 (東大理)・河合研志 (東大総合文化)・小西健介 (台湾中央研究院)
ゲラー ロバート (東大理)
- 16:30 S07-06 2 観測点間の表面波の位相及び振幅比のジョイントインバージョンによる北米大陸下の上部マントル構造
浜田広太・吉澤和範 (北大理)

10 月 28 日 (水) B 会場 午前

S06. 地殻構造

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 新井隆太・北佐枝子

- 9:00 S06-05 沖縄トラフの背弧リフト構造
新井隆太・海宝由佳・高橋努・仲西理子・藤江剛・中村恭之・三浦誠一・小平秀一 (JAMSTEC)
金田義行 (名古屋大学)
- 9:15 S06-06 宮古・八重山諸島周辺におけるランダム速度不均質構造
高橋努・海宝由佳・石原靖・山本揚二郎・尾鼻浩一郎・三浦誠一・小平秀一 (JAMSTEC)
金田義行 (名古屋大学)
- 9:30 S06-07 南西諸島における三次元地震波減衰トモグラフィ
小松正直・竹中博士 (岡大・院・自然)
- 9:45 S06-08 九州地方における地殻の内部減衰と散乱減衰 2
志藤あずさ・松本聡 (九大地震火山セ)・大倉敬宏 (京大地球熱学研)
- 10:00 S06-09 西南日本における詳細な地震波減衰構造 - 長期的・短期的スロースリップとの関係 -
北佐枝子・松原誠 (防災科研)
- 10:15 S06-10 A study of scattering attenuation of crust in South Korea
Chung, Tae Woong (Sejong University)

B会場 午後

S06. 地殻構造

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 岡田知己・佐藤壮・飯高隆・豊国源知

- 13:30 S06-11 房総沖プレート沈み込み帯の速度構造と反射波強度分布
河野昭博・佐藤利典 (千葉大・理)・篠原雅尚・望月公廣・山田知朗 (東大地震研)
植平賢司・眞保敬 (防災科研)・町田祐弥 (JAMSTEC)・日野亮太・東龍介 (東北大・理)
- 13:45 S06-12 東北地方中南部の地震波速度構造と地震活動
岡田知己・山本希・市來雅啓・三浦哲・松澤暢・長谷川昭 (東北大・理)
吉田圭佑 (防災科研)・東北地方太平洋沖地震合同余震観測グループ
- 14:00 S06-13 東北地方下における太平洋スラブの地震波減衰構造の推定
椎名高裕・中島淳一・松澤暢 (東北大)
- 14:15 S06-14 1998-2000年北海道トランゼクトデータの再解析による日高衝突帯の構造 VII
岩崎貴哉 (東京大学地震研究所)・津村紀子 (千葉大学)・伊藤谷生 (帝京平成大学)
佐藤比呂志・蔵下英司・平田直 (東京大学地震研究所)・在田一則 (北海道大学)
野田克也・藤原明・阿部進 (地球科学総合研究所)・菊池伸輔 (石油資源)
鈴木和子 (シュランベルジュ)
- 14:30 S06-15 日本海の断層分布と構造的特徴
高橋成実・清水祥四郎・新井麗・勝山美奈子・安藤五郎・田中恵介・及川信孝 (JAMSTEC)
荒井晃作・井上卓彦・阿部信太郎 (AIST)・金田義行 (JAMSTEC)
- 14:45 S06-16 地震探査による能登半島西方沖・日本海大和海盆域の地殻構造
佐藤壮・野徹雄・小平秀一・三浦誠一・藤江剛 (JAMSTEC)
石山達也・佐藤比呂志 (東大地震研)
- 15:00 休憩
- 15:15 S06-17 弾性波アクロスによる S 波偏向異方性変化から推定される東北地方太平洋沖地震に伴うクラックの挙動
國友孝洋・浅井康広・石井紘 (東濃地震研)
- 15:30 S06-18 S 波偏向異方性によるいわき市内陸部における応力場の深さ依存性検出の試み
飯高隆・五十嵐俊博・小原一成・酒井慎一 (東大地震研)・加藤愛太郎 (名大)・武田哲也 (防災科研)
- 15:45 S06-19 反射法測線に記録された浅発地震ごく近傍の傾斜高速度面
大滝壽樹 (産総研地質情報)
- 16:00 S06-20 GPS1 秒サンプリング記録による巨大疑似ロングショット
川崎一朗 (東濃地震科学研)・西村卓也 (京大防災研)
- 16:15 S06-21 グリーンランド氷床における広帯域連続地震波形記録を用いた地震波干渉法解析
豊国源知 (東北大・理・予知セ)・竹中博士 (岡山大)・金尾政紀 (極地研)
坪井誠司 (JAMSTEC)・東野陽子 (文科省)
- 16:30 S06-22 オントンジャワ海台地殻最深部付近の反射波解析
三浦誠一・藤江剛・白井太郎・野口直人・小平秀一 (JAMSTEC)
コフィン-ミラード (タスマニア大学)・カワグル-サイモン (Univ_PNG)
ヴェラヴ-ロナルド (MRA_PNG)

10月28日(水) C会場 午前

S17. 津波

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 山本直孝・齊藤竜彦

- 9:00 S17-01 S-net データを用いた津波遡上即時予測のための津波シナリオバンクの構築に向けた取り組み
鈴木亘・青井真・中村洋光・平田賢治・山本直孝・武田哲也・松原誠・功刀卓 (防災科研)
根本信 (応用地質)
- 9:15 S17-02 沖合津波観測網を用いたリアルタイム津波浸水予測手法の開発
山本直孝・青井真・平田賢治・鈴木亘・功刀卓・中村洋光 (防災科研)
- 9:30 S17-03 津波伝播特性を利用した津波予測手法に関する検討
津野靖士 (鉄道総合技術研究所)
藤原了・是永眞理子・橋本紀彦 (伊藤忠テクノソリューションズ)
- 9:45 S17-04 実観測記録を用いた tFISH による近地津波予測性能評価
堀内明子・日野亮太・太田雄策・久保田達矢 (東北大)・対馬弘晃 (気象研)
- 10:00 S17-05 震源域近傍の海底津波計の観測記録から津波数値計算を開始する手法の開発
谷岡勇市郎 (北大・理)
- 10:15 S17-06 海洋音響波・地震波・津波を含む海底水圧記録と浸水域の理論合成方法
齊藤竜彦 (防災科研)

C会場 午後

S17. 津波

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 平田賢治・佐竹健治・藤井雄士郎・楠本聡

- 13:30 S17-07 流速(流量)を求める津波インバージョン
館畑秀衛 (気象庁)
- 13:45 S17-08 津波計算のための任意形状・任意すべり量震源断層に対応した地殻変動計算プログラムの開発
松浦律子 (地震予知振興会)・三橋祐太 (構造計画)
- 14:00 S17-09 南海トラフにおける確率論的津波ハザード評価—(1)地震調査委員会(2013)が例示した15
想定震源域に基づく評価の試作版
平田賢治・藤原広行・中村洋光・長田正樹・森川信之・河合伸一・大角恒雄
青井真・山本直孝 (防災科研)・松山尚典・遠山信彦・鬼頭直 (応用地質)
村嶋陽一・村田泰洋・井上拓也・齊藤龍・高山淳平 (国際航業)
秋山伸一・是永眞理子・阿部雄太・橋本紀彦 (CTC)
- 14:15 S17-10 活断層長に基づく地震モーメントの事前推定
島崎邦彦 (東京大学)
- 14:30 S17-11 Tsunami waveform synthesization and source characterization using normal mode method
呉逸飛・佐竹健治 (東大地震研)
- 14:45 S17-12 鳥島近海で繰り返す M6 地震による異常な津波
佐竹健治・Aditya Gusman (東大地震研)
- 15:00 休憩

15:15	S17-13	A Comprehensive Source Model for the Makran Tsunami of 27 November 1945, NW Indian Ocean #Mohammad Heidarzadeh · Kenji Satake (ERI, Univ. Tokyo)
15:30	S17-14	2011年東北地方太平洋沖地震の津波断層モデルの再検討 横田崇 (内閣府・愛工大) · # 根本信 · 高瀬嗣郎 · 松末和之 (応用地質) · 池田雅也 (内閣府)
15:45	S17-15	明治三陸地震の津波波源モデル再考 # 藤井雄士郎 (建築研) · 佐竹健治 (東大地震研) · 山木滋 (シーマス)
16:00	S17-16	2011年東北津波において観測されたミッドウェイ本州2回反射波 # 阿部邦昭 (無所属) · 岡田正実 · 林豊 (気象研)
16:15	S17-17	福島県南相馬市井田川干拓地の津波堆積物調査 # 楠本聡 (東大地震研) · 五島朋子 (東大新領域) · 石辺岳男 · 佐竹健治 (東大地震研)
16:30	S17-18	Sediment transport modeling of multiple grain sizes in V-shaped valley of Numanohama during the 2011 Tohoku tsunami # Aditya Riadi Gusman · Kenji Satake (ERI, Univ. of Tokyo) Tomoko Goto (GSFS, Univ. of Tokyo) · Tomoyuki Takahashi (Kansai Univ.)

10月28日(水) D会場 午前

S11. 地震に伴う諸現象, S04. テクトニクス

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 日置幸介・芝崎文一郎

S11. 地震に伴う諸現象

9:00	S11-01	1965-1967 松代群発地震における電磁気現象の再検討 # 榎本祐嗣 · 山辺典昭 (信州大学) · 奥村暢朗 (株コンボン研)
9:15	S11-02	地震直前の電離圏電子数上昇の M_w 依存性 # 日置幸介 (北大院理) · 榎本祐嗣 (信州大 SASTec)
9:30	S11-03	地震発生前に励起された電磁波パルスの検出 # 筒井稔 (京都産業大学)

S04. テクトニクス

9:45	S04-01	不均質な熱構造を考慮した島弧地殻における変形、応力場、地形形成のモデル化 # 芝崎文一郎 (建築研) · 松本拓己 (防災科研) · 武藤潤 · 岡田知己 · 吉田武義 (東北大理)
10:00	S04-02	海洋リソスフェアにおける応力の時間発展：熱応力の重要性と非地震性応力解放の可能性 # 篠島僚平 · 伊藤武男 (名大環境)
10:15	S04-03	地震サイクルにおける北アナトリア断層帯下の地殻内応力状態 # 山崎雅 (産総研) · Gregory A. Houseman (リーズ大学)

D 会場 午後

S04. テクトニクス

座長 日野亮太・東龍介・山野誠・高橋雅紀

- 13:30 S04-04 深海調査で迫るプレート境界断層浅部すべりの謎
日野亮太 (東北大理)・小平秀一・金松敏也 (JAMSTEC)・篠原雅尚 (東大震研)
伊藤喜宏 (京大防災研)
- 13:45 S04-05 深海調査から日本海溝アウターライズ地震に迫る
小平秀一・藤江剛・中村恭之・尾鼻浩一郎・三浦誠一・高橋成実 (JAMSTEC)
- 14:00 S04-06 宮城沖日本海溝海溝軸からアウターライズ域の太平洋プレートの構造と地震活動
尾鼻浩一郎・藤江剛・小平秀一・高橋努・山本揚二郎・佐藤壯・山下幹也
中村恭之・三浦誠一 (JAMSTEC)
- 14:15 S04-07 人工地震探査で推定した 2011 年東北沖地震大すべり域周辺の地殻構造
東龍介・日野亮太・太田雄策 (東北大理)・望月公廣 (東大地震研)・村井芳夫 (北大理)
伊藤喜宏 (京大防災研)・八木原寛 (鹿大理)・佐藤利典 (千葉大理)・篠原雅尚 (東大地震研)
- 14:30 S04-08 2011 年東北地方太平洋沖地震震源域北限周辺における人工震源地震波構造調査による P 波速度構造
石原健・望月公廣・山田知朗・篠原雅尚 (東大地震研)・山下裕亮 (京大防災研)
東龍介・日野亮太 (東北大理)・佐藤利典 (千葉大理)・村井芳夫 (北大理)
八木原寛 (鹿大理)
- 14:45 S04-09 北西太平洋海盆における海洋リソスフェア深部の構造イメージング
大平茜・小平秀一 (横国大/JAMSTEC)
中村恭之・藤江剛・新井隆太・三浦誠一 (JAMSTEC)
- 15:00 休憩
- 15:15 S04-10 GPS/A 海底地殻変動観測による 2011 年東北沖地震の余効変動の解明
富田史章・長田幸仁・太田雄策・日野亮太 (東北大理)・木戸元之 (東北大災害研)
飯沼卓史 (JAMSTEC)
- 15:30 S04-11 2011 年東北沖地震震源域における大規模海底余震観測データを用いたプレート境界型地震の検出
仲谷幸浩・望月公廣・篠原雅尚・山田知朗・塩原肇 (東大地震研)
日野亮太・東龍介 (東北大理)・伊藤喜宏 (京大防災研)・村井芳夫 (北大)
佐藤利典 (千葉大)・植平賢司・真保敬 (防災科研)・八木原寛 (鹿大)
小平秀一・町田祐弥 (JAMSTEC)・平田賢治・対馬弘晃 (気象研)
- 15:45 S04-12 日本海溝海側における熱流量異常：海洋地殻の破碎と間隙流体循環
山野誠 (東大地震研)・川田佳史 (JAMSTEC)・濱元栄起 (埼玉環境科学セ)
Labani Ray (NGRI)
- 16:00 S04-13 日本海溝周辺のとクトニック変動の地層記録
池原研・宇佐見和子 (産総研地質情報)・金松敏也 (JAMSTEC)
Michael Strasser (ETH Zurich)
- 16:15 S04-14 日本海溝陸側斜面のタービダイトにみる地震発生履歴
宇佐見和子・池原研 (産総研地質情報)・金松敏也 (JAMSTEC)
Cecilia McHugh (Queens College, C.U.N.Y.)
- 16:30 S04-15 太平洋プレートのスラブの湾曲の原因
高橋雅紀・石田瑞穂 (産総研)

10月26日(月) 17:00～18:30 ポスター会場

ポスターセッション

S02. 地震計測・処理システム, S03. 地殻変動・GNSS・重力, S09. 地震活動,
S14. 地震予知・予測, S16. 地盤構造・地盤震動, S18. 地震教育・地震学史,
S23. 2015年5月30日小笠原諸島西方沖の深発地震

S02. 地震計測・処理システム

- S02-P01 岩石の熱履歴による小規模スロースリップ検出
大久保慎人・橋本善孝 (高知大学)
- S02-P02 広帯域地震計の周波数応答特性異常と背景ノイズレベル
木村武志 (防災科研)
- S02-P03 南鳥島における広帯域地震観測の近況
石原靖 (JAMSTEC)・弘瀬冬樹・木村一洋・藤田健一・勝間田明男 (気象研)・竹内希 (東大地震研)
- S02-P04 長期孔内観測データ提供システムの開発
坪井誠司・堀川博紀・高江洲盛史・末木健太郎・荒木英一郎・園田朗・高橋成実 (JAMSTEC)
- S02-P05 地震情報のリアルタイム表示プログラムの作成
古舘友通 (気象研)
- S02-P06 I felt it! 市民参加型加速度センサーネットワークの構築
竹内達哉 (横浜国大環境)・佐々木亜季子 (横浜市大)・上松大輝 (専修大)
小泉和之・金亜伊 (横浜市大)
- S02-P07 震源のタイムリバーサルパルスと震源球との比較
菊池年晃 (防衛大)

S03. 地殻変動・GNSS・重力

- S03-P01 高精度海底地殻変動観測のための高頻度CTD測定
田所敬一・安田健二・谷口颯汰・植村雄一・松廣健二郎 (名古屋大)
- S03-P02 大規模水平不均質構造を有する海域における海底局位置決定の高精度化
植村雄一・田所敬一・安田健二・松廣健二郎 (名大環境)・生田領野 (静岡大理)
- S03-P03 海底地殻変動観測のオンデマンド化に向けた係留ブイ位置の実時間把握のためのGNSSシステム開発
太田雄策 (東北大院理)・木戸元之 (東北大災害研)
- S03-P04 GPS-A 観測で得られた東北沖地震後4年間の南海トラフ沿いの海底の動き
田代俊治・石川直史・渡邊俊一・横田裕輔 (海洋情報部)
- S03-P05 エアガンと海底地震観測網を用いた南海トラフ地震発生帯における精密地震波速度計測の試み
荒木英一郎・木村俊則・三浦誠一・小平秀一 (JAMSTEC)
- S03-P06 2004年釧路沖地震(M7.1)の余効変動の特徴-再訪-
青木千夏・高橋浩晃 (北大理)
- S03-P07 2003年十勝沖地震の余効変動に含まれる余効すべりと粘弾性緩和の影響のGNSSデータを用いた推定
伊東優治 (京大院理)・西村卓也 (京大防災研)
- S03-P08 東北地方における2011年東北沖地震前の上下地殻変動
黒川祐梨 (名大環境)・鷺谷威 (名大減災セ)
- S03-P09 GPSデータを用いた2013年東海地方長期スロースリップイベントの解析
坂上啓・福田淳一・加藤照之 (東大地震研)
- S03-P10 東海地方の非定常変動
小沢慎三郎 (国土地理院)

- S03-P11 東海地域の長期的ゆっくりすべりの時間変化
宮岡一樹 (気象研)・木村久夫 (気象庁)
- S03-P12 東海地域のゆっくりすべり検出を目指した GNSS スタッキング法の開発
木村久夫・沼野あかね (気象庁)・宮岡一樹 (気象研)
- S03-P13 3次元有限要素法による不均質構造を考慮した西南日本における地震時と地震後の地殻変動
大間俊樹・伊藤武男・篠島僚平 (名大環境)
- S03-P14 2015年箱根群発地震活動とその地殻変動
原田昌武・道家涼介 (温地研)・宮岡一樹 (気象研)・本多亮・行竹洋平・板寺一洋 (温地研)
- S03-P15 2014年長野県北部の地震の余効変動
矢来博司・山田晋也・森下遊・小林知勝・飛田幹男 (国土地理院)
- S03-P16 InSAR 時系列解析による紀伊半島地域の定常的な地殻変動
安藤忍 (気象研)・迫田浩司・中村浩二 (気象庁)
- S03-P17 微小地震の発震機構から推定する九州における地震発生層の非弾性ひずみ
松本聡 (九大地震火山セ)・西村卓也 (京大防災研)・大倉敬宏 (京大理)・中尾茂 (鹿児島大理工)
清水洋 (九大地震火山セ)
- S03-P18 石垣島における地下水流動モデリングのための地震探査
伊藤忍・山口和雄・名和一成・宮川歩夢・山谷祐介 (産総研)・奥田隆 (名古屋大学)
- S03-P19 クリープメーターによるフィリピン・マリキナ断層南部の連続観測
栗田勝実 (都立産技高専)・衣笠善博 (地震予知振興会)・出口知敬 (日鉄鉦コンサルタント)
Rolly E. Rimando (PHIVOLCS)
- S03-P20 伸縮計アレイを用いたスロースリップイベントの検出
加納靖之 (京大防災研)・細善信・尾上謙介 (なし)
- S03-P21 体積歪計が捉えた超長周期海面変動
高波鐵夫・Alan T. Lindet・Selwyn I.Sacks (カーネギー研)・北川源四郎 (情報システム研)
平田直 (東大地震研)
- S03-P22 弾性波アクロスのS波走時変化観測による地下坑道閉鎖後の再冠水のモニタリング
國友孝洋・山岡耕春 (名大環境)・渡辺俊樹 (東大地震研)・浅井康広・石井紘 (東濃地震研)
- S03-P23 地下坑道冠水に伴う地殻歪/地下水位変化
浅井康広・石井紘 (東濃地震科研)
- S03-P24 地震諸現象評価に関する DEM シミュレーションの検討
藤原了・阿部雄太・曹国強・橋本紀彦・河路薫 (CTC)

S09. 地震活動

- S09-P01 地震活動解析ツール XETAS の開発
鶴岡弘・尾形良彦 (東大地震研)
- S09-P02 Hi-net 自動処理震源カタログを用いた余震活動の確率予測 2
近江崇宏 (東大生産研)・尾形良彦 (統数研)・汐見勝彦 (防災科研)・Enescu Bogdan (筑波大)
澤崎郁 (防災科研)・合原一幸 (東大生産研)
- S09-P03 摩擦構成則に基づく地震活動モデルの改良～ ETAS モデルとの混合～
岩田貴樹 (常磐大学)
- S09-P04 2011年長野県北部の地震 (Mw6.2) の前震活動
下條賢悟・Enescu Bogdan・八木勇治 (筑波大学)・武田哲也 (防災科研)
- S09-P05 2011年6月30日に長野県中部で発生した M5.4 の地震の前震活動
豊本大・川方裕則 (立命館大)・土井一生 (京大防災研)

- S09-P06 The 2011 M6.4 Shizuoka earthquake sequence: triggering process investigation
#Anca Opris · Bogdan Enescu · Yuji Yagi (University of Tsukuba)
Sachiko Tanaka · Katsuhiko Shiomi (NIED)
- S09-P07 2014年7月樽前山周辺で発生した地震 (M5.6) 前後のb値変化
#千葉慶太 · 上田英樹 · 棚田俊收 (防災科研)
- S09-P08 2011年10月に活発化した黒部湖周辺の群発地震活動について
#佐藤和悦 · 金亜伊 (横浜市大) · 大見士朗 (京大防災研)
- S09-P09 2015年箱根火山における地震活動の震源分布
#行竹洋平 · 本多亮 · 原田昌武 · 道家涼介 (神奈川温地研) · 齊藤竜彦 · 上野友岳 (防災科研)
酒井慎一 · 森田裕一 (東大地震研)
- S09-P10 富士山北西で発生する最上部マントル地震とその地学的意味
#鶴川元雄 (日大文理)
- S09-P11 カトマンズ強震観測網で観測された2015年4月25日に発生したネパール・ゴルカ地震 (M7.8) の余震活動
#一柳昌義 · 高井伸雄 · 重藤迪子 · Subeg Bijukchhen · 高橋浩晃 · 笹谷努 (北海道大)
Sudhir Rajaura · Megh Raj Dhital (トリブバン大学)
- S09-P12 2015年5月30日に小笠原西方沖で発生したMw8.5の深発地震の余震のメカニズム解の推定
#吉田圭佑 · 福山英一 (防災科研)
- S09-P13 琉球海溝南西部で発生する浅部超低周波地震の分布
#中村衛 (琉球大理) · 涂陽子 (北海道大理)
- S09-P14 南西諸島北部の海域及び島嶼域における地震観測によるプレート境界面形状の推定 (2)
#八木原寛 · 平野舟一郎 · 小林励司 · 宮町宏樹 (鹿児島大) · 馬越孝道 (長崎大) · 中東和夫 (神戸大)
内田和也 · 清水洋 (九州大) · 山下裕亮 (京大防災研) · 阿部英二 · 山田知朗 · 篠原雅尚 (東大地震研)
中尾茂 · 後藤和彦 (鹿児島大)
- S09-P15 日向灘における海底地震計・圧力計を用いたプレート境界浅部スロー地震の長期モニタリング (2)
#山下裕亮 (京大防災研) · 篠原雅尚 · 山田知朗 (東大地震研) · 中東和夫 (神戸大理)
塩原肇 · 望月公廣 · 前田拓人 · 小原一成 (東大地震研)
- S09-P16 日向灘における地震活動とSSEの関係
#山上優太 · Bogdan Enescu · 八木勇治 (筑波大生命環境)
- S09-P17 海底地震観測による2011年東北地震北部震源域の余震分布
#平井広大 · 中東和夫 · 島伸和 (神戸大) · 村井芳夫 (北海道大) · 日野亮太 · 東龍介 (東北大)
伊藤喜宏 (京大防災研) · 佐藤利典 (千葉大) · 真保敬 (防災科研) · 町田祐弥 (海洋研究開発機構)
山田知朗 · 望月公廣 · 塩原肇 (地震研) · 植平賢司 (防災科研) · 八木原寛 (鹿児島大) · 篠原雅尚 (地震研)
- S09-P18 房総沖海底地震観測による地震活動
#伊藤亜妃 · 杉岡裕子 · 尾鼻浩一郎 · 中野優 · 山本揚二郎 · 末次大輔 (海洋研究開発機構)
中東和夫 (神戸大理) · 篠原雅尚 (東大地震研) · 日野亮太 (東北大)
- S09-P19 関東・東北地方下における太平洋プレート上部境界付近の地震活動
#正田雅大 · 中島淳一 (東北大予知セ)
- S09-P20 小笠原諸島周辺の震源決定精度向上のための自己浮上式海底地震計の設置について
#中田健嗣 · 小林昭夫 · 木村一洋 · 対馬弘晃 · 勝間田明男 · 前田憲二 (気象研)
馬場久紀 · 山田知怜 · 花村憲享 · (東海大海洋)
- S09-P21 DONET2で観測された紀伊水道下の低周波微動
#中野優 · 利根川貴志 (海洋研究開発機構) · 金田義行 (名古屋大学)

- S09-P22 南アフリカ金鉱山地下 1km の採掘空洞前方で観察された板状分布を示す AE 活動の b 値と空間相関長の時間変化
 # 山形直毅・直井誠 (京大)・中谷正生 (東大)・森谷祐一・大槻憲四郎 (東北大)
 Thabang Kgarume (CSIR)・Joachim Philipp (GMuG)・村上理 (立命館大)
 Thabang Masakale (OHMS)・Luiz Ribeiro (Seismogen)・矢部康男 (東北大)
 川方裕則 (立命館大)・Anthony Ward (Seismogen)・石田毅 (京大)
 Ray Durrheim (CSIR/Wit 大)・小笠原宏 (立命館大)
- S09-P23 南アフリカ Cooke 4 金鉱山 1km 深における, $M_w \geq 0$ の地震に先行する時期に起こった Acoustic Emission の活動度
 # 北代雅明・直井誠 (京大)・中谷正生 (東大)・森谷祐一・大槻憲四郎 (東北大)
 Thabang Kgarume (CSIR)・Joachim Philipp (GMuG)・村上理 (立命館大)
 Thabang Masakale (OHMS)・Luiz Ribeiro (Seismogen)・矢部康男 (東北大)
 川方裕則 (立命館大)・Anthony Ward (Seismogen)・石田毅 (京大)
 Ray Durrheim (CSIR/Wit 大)・小笠原宏 (立命館大)
- S09-P24 Tsunamigenic Earthquakes at Along-dip Double Segmentation and Along-strike Single Segmentation near Japan
 #Junji Koyama・Motohiro Tsuzuki・Kiyoshi Yomogida (北大理自然史)
- S09-P25 海洋プレート内地震の発生頻度と海底年代の関係およびその発生メカニズムの考察
 # 上山和也・深畑幸俊 (京大防災研)

S14. 地震予知・予測

- S14-P01 「前兆すべりモデル」と「東海地震発生の切迫性」の漂流～「掛川に対して御前崎が沈降する傾向」とは結局何なのか～
 # 間瀬博文 (所属なし)
- S14-P02 電波により搬送された音波の観測による地震予知
 # 多田恵藏 (TADA 地震火山予知研究所)
- S14-P03 最大瞬間風速からの地震予知 (9) —2015 年小笠原諸島西方沖地震の予知—
 # 猿渡隆夫 (なし)
- S14-P04 首都圏の地震発生予測モデルの構築に向けて—3 ヶ月テストクラスの事前予測実験—
 # 横井佐代子・鶴岡弘・平田直 (東大地震研)
- S14-P05 繰り返し回数の少ない地震系列に対する長期的発生予測精度の乱数実験
 # 田中昌之・岡田正実 (気象研)

S16. 地盤構造・地盤震動

- S16-P01 極小・短時間の 2 点微動アレイの利用性
 # 長郁夫 (産総研)・先名重樹・藤原広行 (防災科研)
- S16-P02 任意形状アレイによる位相速度推定のための一考察
 # 盛川仁・飯山かほり (東工大総理工)
- S16-P03 空間統計モデルを用いた微動 H/V スペクトル比ピーク周期のモデル化の試み
 # 後藤浩之 (京大防災研)・盛川仁・飯山かほり (東工大)
- S16-P04 微動およびボーリングデータによる鳥取市街地の地盤構造推定
 # 池田理紗・中村公一・貝崎達憲・井上翔大・野口竜也 (鳥取大)
- S16-P05 稠密微動観測による鹿野断層および鹿野町市街地の地盤構造推定
 # 野口竜也・上野太士・香川敬生・吉田昌平・西田良平 (鳥取大)
- S16-P06 微動観測による松江・安来地域の地盤構造推定
 # 野口竜也・伊藤一樹・井上廉・福田大地・香川敬生 (鳥取大)

- S16-P07 大分平野における稠密小半径アレイ微動探査
吉見雅行 (産総研)・林田拓己 (建築研)・松島信一・川瀬博 (京大防災研)・竹中博士 (岡山大)
山田伸之 (福教大)・徳丸哲義・杉山長志 (徳丸事務所)
- S16-P08 八重山・宮古諸島島嶼部における深部地盤のS波速度構造～地下構造モデルの性能評価～
山田伸之 (福岡教育大)・竹中博士 (岡山大)
- S16-P09 常時微動アレイ観測による小笠原硫黄島の地盤構造の推定
村越匠・林浩平・木村孝承 (防衛大地球海洋)
- S16-P10 スペクトルインバージョン法に基づく福島県いわき市街地の地盤増幅特性の推定
林田拓己・横井俊明・中川博人・小山信・鹿嶋俊英 (建築研)
- S16-P11 海域記録を用いた長周期地震動のための付加体速度構造モデルの検証
郭雨佳・瀨瀬一起 (東大地震研)・三宅弘恵 (東大情報学環・地震研)
- S16-P12 新潟東港の石油備蓄基地内における長周期地震動特性の短距離での相違について—その2: 微動観測から推定された地下構造の比較
畑山健 (消防研)・座間信作 (横国大)
- S16-P13 関東堆積盆地における長周期地震動の震央方位依存性 - 表面波の励起・伝播と地盤構造の関係 -
鍛冶川謙吾 (横浜市大)・武村俊介 (東大地震研)・吉本和生 (横浜市大)
- S16-P14 糸魚川-静岡構造線断層帯における臨時連続強震観測
三宅弘恵・宮川幸治・郭雨佳・Loic Viens・近藤利明・瀨瀬一起 (東大)
- S16-P15 地表および潜在断層地震における地震動特性に関する基礎的研究
吉田昌平・香川敬生・野口竜也 (鳥取大院工)

S18. 地震教育・地震学史

- S18-P01 日本海の拡大模型の制作
高橋雅紀 (産総研)
- S18-P02 簡易津波伝播計算ウェブサービスの開発
松浦律子 (地震予知振興会)・安重晃・坂本英樹・庄司正弘 (構造計画)

S23. 2015年5月30日小笠原諸島西方沖の深発地震

- S23-P01 2015年小笠原西方沖深発地震域のP波トモグラフィー
藤澤萌人・趙大鵬・豊国源知 (東北大予知セ)
- S23-P02 2015年5月30日小笠原諸島西方沖の深発地震による遠地の最大地動加速度
久家慶子 (京大理)

10月27日(火) 17:00～18:30 ポスター会場

ポスターセッション

S01. 地震の理論・解析法, S08. 地震発生の物理, S10. 活断層・歴史地震, S15. 強震動・地震災害,
S22. 阪神・淡路大震災から20年を迎えた地震研究の到達点と課題

S01. 地震の理論・解析法

- S01-P01 Wiener フィルターを用いたインバージョン法: 2次元データや短い波形への拡張
蓬田清 (北大・理)
- S01-P02 差分法による相関距離とゆらぎ強度の分離可能性の検討
江本賢太郎 (東北大)

- S01-P03 表現定理とグリーン関数 (1) - 全無限グリーン関数による有限領域の表現 -
日下部哲也・亀伸樹 (東大地震研)
- S01-P04 表現定理とグリーン関数 (2) - 体積震源のモーメントテンソル表現 -
日下部哲也・亀伸樹・市原美恵 (東大地震研)・熊谷博之 (名大院環境)
- S01-P05 海面反射除去フィルタを用いた OBS アレイデータによるレシーバ関数の推定
悪原岳・望月公廣・川勝均・竹内望 (東大地震研)
- S01-P06 粘弾性モデルを用いた GPS データの逐次インバージョンによる 2011 年東北沖地震の余効すべり分布の推定
野田朱美・高浜勉 (構造計画研)・大場政章・伊藤利治 (日本原電)・松浦充宏 (統計数理研)
- S01-P07 P 波極性解析による震央方位の推定法の改良～平成 19 年 (2007 年) 新潟県中越沖地震の解析結果～
大島光貴 (清水建設株式会社)
- S01-P08 震源メカニズムのリアルタイム決定システム (GRID-MT) の高度化に向けた 3 次元グリーン関数計算と相反定理の利用
長尾有紗 (東大院学際情報学府)・古村孝志 (東大地震研)・鶴岡弘 (東大地震研, 東大院情報学環)
- S01-P09 2 次元差分格子における傾斜した亀裂のモデル化: P-SV 波散乱の場合
谷中貴一・河原純 (茨城大)・椎名高裕 (東北大)・岡元太郎 (東工大)
- S01-P10 Normal Distribution of Seismic Wave Spectrum and Solitary Wave in Water Waves (Science of Form)
Masaru Nishizawa (None)

S08. 地震発生の物理

- S08-P01 疎性モデリングを用いたすべり分布のインバージョン
中田令子・桑谷立 (JAMSTEC)・岡田真人 (東大新領域)・堀高峰 (JAMSTEC)
- S08-P02 サンプリング法と 4 次元変分法とを組み合わせたデータ同化手法の開発とスロースリップイベントへの適用
日吉善久・杉浦望実・堀高峰 (JAMSTEC)
- S08-P03 DONET で観測された紀伊半島沖のスロースリップイベントの断層推定
鈴木健介・中野優・堀高峰・高橋成実 (JAMSTEC)
- S08-P04 紀伊および四国地方のプレート境界遷移領域における平均すべり速度の再推定
大工草見子・平松良浩 (金沢大)・松澤孝紀 (防災科研)
- S08-P05 2011 年東北地方太平洋沖地震の不均質構造モデルを用いた破壊過程解析 (5): 相互相関係数による考察
岡元太郎 (東工大)・竹中博士 (岡山大)・原辰彦 (建築研)・中村武史 (海洋研究開発機構) 青木尊之 (東工大)
- S08-P06 東北沖繰り返し地震における地震波エネルギーの時間変化及び空間変化; 断層強度回復プロセスへの示唆
荒諒理・井出哲 (東大理)・内田直希 (東北大理)
- S08-P07 宮城県気仙沼沖繰り返し地震の震源過程—2015 年 5 月 13 日宮城県沖の地震 (Mj6.8) と過去の M6 クラスの繰り返し地震との比較—
迫田浩司・田中美穂・上田満治 (気象庁)
- S08-P08 震源スペクトルにおける高周波数帯でのべき乗指数
木内亮太・Jim Mori (京大防災研)
- S08-P09 低周波微動発生域における異方性時間変化測定: 四国東北部
石瀬素子・西田究 (東大地震研)
- S08-P10 プレート境界巨大地震の断層浅部の挙動の特性把握に向けた動力的断層破壊シミュレーション
津田健一・小川幸雄・渡辺孝英・宮腰淳一 (大崎総合研究所)・浦谷裕明・岩瀬聡 (中部電力) J-P. Ampuero (Caltech)
- S08-P11 Earthquake cycle models for the western end of the North Anatolian Fault in the region including the 1999 Izmit rupture
#Irfan Kilic (Kyoto Univ.)・Takane Hori・Mamoru Hyodo (JAMSTEC) Shin'ichi Miyazaki (Kyoto Univ.)

- S08-P12 Modeling the evolution of the lower crust with laboratory derived rheological laws under an intraplate strike slip fault
#Xuelei Zhang · Takeshi Sagiya (Nagoya Univ.)
- S08-P13 地震発生サイクルシミュレーションから見た南海トラフ巨大地震系列の解釈
兵藤守 · 堀高峰 (JAMSTEC) · 金田義行 (名古屋大)
- S08-P14 駿河湾の地震の続発を許す東海地震の発生の切迫性とは!? ~メカニズム解が語るスラブ内の状況~
間瀬博文 (所属なし)
- S08-P15 構造不均質により生じる不均質応力場での破壊過程 (2004 年中越地震)
宮武隆 (東大地震研)
- S08-P16 2014 年長野県北部の地震の動力的震源モデル (その 2)
加瀬祐子 (産総研)
- S08-P17 断層近傍の強震記録から推定される 2014 年の長野県北部の地震の破壊過程 (その 2)
堀川晴央 (産総研)
- S08-P18 M2 ~ 5 級南アフリカ金鉱山誘発地震群の震源域での弾性境界要素法応力解析による地震発生の再現と Mohr-Coulomb 破壊基準の拘束
内浦大海 · 石田亮壮 · 小笠原宏幸 · 小笠原宏 (立命館大学) · Gerhard Hofmann (Anglogold Ashanti)
Mitch Wiggins · Wouter Stone · Pinkie Ndaba · Janelle Plotz · Patrick Lenegan (Sibanye Gold)
Halil Yilmaz · Tawanda Zvarivadza · Siyanda Mngadi · Andrew Carpede (Wits 大)
Raymond Durrheim (Wits 大 · CSIR) · Alex Milev (CSIR) · 矢部康男 (東北大)
加藤春實 (3D 地科学研究所) · Artur Cichowicz (CGS) · 堀内茂木 (Home Seismo 社)
大久保慎人 (高知大) · 山口照寛 (北大)
- S08-P19 水圧破碎によって誘発された微小地震の震源メカニズム~解を制限したインバージョン手法~
飯田周平 · 金垂伊 (横浜市大)
- S08-P20 遠地実体波震源過程解析の自動化に向けた最適パラメータの考察
藤田健一 · 勝間田明男 (気象研) · 迫田浩司 (気象庁)
- S08-P21 An automated system for tracking rupture features of large earthquakes in real time
#Dun Wang · Hitoshi Kawakatsu (ERI) · Jim Mori (DPRI)
- S08-P22 重力で地震発生を捉える - 断層の動的破壊に伴う重力変化検出の理論的検討 -
木村将也 (東大理地惑) · 亀伸樹 · 綿田辰吾 · 大谷真紀子 · 新谷昌人 · 今西祐一 (東大地震研)
安東正樹 (東大院物理)
- S08-P23 流れを伴う熱 · 流体圧 · 空隙生成系中の滑り速度及び地震モーメントの包括的理解
鈴木岳人 (青学大理工) · 山下輝夫 (東大地震研)
- S08-P24 N 型地震の振動特性からみた吾妻山熱水系の時間発展
鳥本達矢 · 山本希 · 三浦哲 · 植木貞人 (東北大学知セ)
- S08-P25 岩石摩擦の熱力学的メソスケールモデル
光井能麻 (名大理) · Van Peter (HAS)

S10. 活断層・歴史地震

- S10-P01 三陸海岸沼の浜における 2011 年津波堆積物の堆積様式と古津波の履歴
五島朋子 (東大新領域) · 佐竹健治 (東大地震研) · 須貝俊彦 (東大新領域)
石辺岳男 · 原田智也 · Aditya Riadi Gusman (東大地震研)
- S10-P02 1833 年天保出羽沖地震の波源像に関する考察
今井健太郎 · 高橋成実 · 大林凉子 (海洋研究開発機構) · 馬場俊孝 (徳島大学)
- S10-P03 紀伊半島南部沿岸の隆起 · 津波痕跡が示す南海トラフ巨大地震履歴
宍倉正展 (産総研) · 前空英明 (法政大) · 越後智雄 (地盤研究財団) · 行谷佑一 (産総研)

- S10-P04 神社明細帳でみた南海トラフ地震
山中佳子 (名大環境)
- S10-P05 地震直後に行われたアンケート調査の再検討による 1944 年東南海地震・1945 年三河地震の震度分布
原田智也 (東大地震研)・室谷智子 (国立科学博物館)・佐竹健治 (東大地震研)・古村孝志 (東大地震研)
- S10-P06 石灯籠の破損を用いた歴史地震の揺れの再現 - 北野天満宮及び石清水八幡宮の場合 -
加藤護 (京大院人・環)・日岡惇 (京大総合人間)
- S10-P07 Millennium recurrence interval of $M \sim 8$ earthquakes within the Longmen Shan Thrust Belt, central China
林愛明 (京都大学大学院理学研究科)
- S10-P08 断層活動性評価に向けた三浦半島南下浦断層の断層岩の解析
磯部翔平・上原真一 (東邦大理)・溝口一生 (電中研)・飯田高弘 (セレス)
- S10-P09 2014 年長野県北部の地震 (Mw 6.2) 時に出現した副次的な地表地震断層群の性状
上田圭一・溝口一生・中田英二・佐々木俊法 (電力中央研究所)
田中竹延・野元隆明・川崎泰照・柳田誠 (阪神コンサル)
- S10-P10 和歌山県岩出市紀泉台における中央構造線断層帯の反射法地震探査
岩田知孝 (京大防災研)・堤浩之・竹村恵二 (京大院理)・山田浩二・末廣匡基 (阪神コンサルタンツ)
- S10-P11 関東地域の活断層の長期評価について
山際敦史 (文科省)・# 地震調査委員会長期評価部会活断層分科会

S15. 強震動・地震災害

- S15-P01 The Wave Features Theory of Port Island on Hanshin-Awaji Earthquake Disaster
Masaru Nishizawa (None)
- S15-P02 An analysis of the observed strong motion records at the Kantipath (KATNP) site during the 2015 Nepal earthquakes
Yadab P. Dhakal・Hisahiko Kubo・Wataru Suzuki・Takashi Kunugi・Shin Aoi・Hiroyuki Fujiwara (NIED)
- S15-P03 Strong-Motion Records of Aftershocks of 2015 Gorkha, Nepal Earthquake
Subeg Bijukchhen・Nobuo Takai・Michiko Shigefuji・Masayoshi Ichiyanagi
Tsutomu Sasatani (Hokkaido Univ.)・Sudhir Rajaure・Megh Raj Dhital (Tribhuvan Univ.)
- S15-P04 Long-period Ground Motion Simulation of the Mw 6.9 Iwate-Miyagi Nairiku Earthquake using the Ambient Seismic Field
Loic Viens・Hiroe Miyake・Kazuki Koketsu (ERI, University of Tokyo)
- S15-P05 強震記録に基づく 2013 年 4 月 13 日淡路島付近の地震 (Mw5.8) の震源モデルの推定
染井一寛・宮腰研 (地盤研)・倉橋奨 (愛工大)
- S15-P06 強震記録に基づく 2011 年 3 月 12 日長野県・新潟県県境付近の地震 (Mw6.2) の震源モデルの推定
松元康広・高浜勉 (構造計画研)・宮腰研 (地盤研)
- S15-P07 2011 年 4 月 7 日の宮城県沖スラブ内地震の女川地点における複数の要素地震を用いた経験的グリーン関数法による地震動評価
小穴温子 (清水建設)・壇一男・宮腰淳一 (大崎総合研究所)・石川和也・福士知司 (東北電力)
- S15-P08 強震動記録から検討した 2008 年岩手・宮城内陸地震の共役断層の可能性
吉田邦一・宮腰研 (地域地盤環境研)・倉橋奨・入倉孝次郎 (愛工大)
- S15-P09 周期帯毎に見た 2003 年十勝沖地震の地震波励起特性
久保久彦・鈴木亘 (防災科研)・岩田知孝・浅野公之 (京大防災研)・青井真・功刀卓 (防災科研)
- S15-P10 改良統計的グリーン関数法に基づく 1923 年関東地震の広帯域震源モデルと強震動の推定
佐藤智美 (清水建設)
- S15-P11 2014 年長野県北部地震の強震記録にみられるリングステップ
中村亮一 (東電設計)・植竹富一・引間和人 (東京電力)

- S15-P12 振幅成長の過程が緊急地震速報のマグニチュード推定に及ぼす影響について
林元直樹・干場充之（気象研）
- S15-P13 J-RISQ 地震速報の高機能化
中村洋光・鈴木亘・功刀卓・青井真・高橋郁夫・藤原広行（防災科研）
- S15-P14 首都圏強震動総合ネットワーク SK-net の現状
鷹野澄・上原美貴・瀬瀬一起（東大地震研）
- S15-P15 波動場の実況把握を目指した強震アレー観測
小木曾仁・林元直樹・干場充之（気象研）
- S15-P16 全国地震動予測地図の評価に用いる実績の期間に関する考察
近藤利明・瀬瀬一起（東大地震研）
- S15-P17 ホームサイスマメータ利活用に関するアンケート調査
内藤昌平・中村洋光・藤原広行（防災科研）・加地正明・藤牧静子（エイター）
- S15-P18 強震動予測レシピと SCEC Broadband Platform
三宅弘恵（東大）・森川信之・岩城麻子・前田宜浩（防災科研）・瀬瀬一起（東大）・James J. Mori（京大）
藤原広行（防災科研）・入倉孝次郎（愛工大）・川瀬博（京大）
- S15-P19 内陸地殻内地震の広帯域地震動予測手法（レシピ）の検証
岩城麻子・前田宜浩・森川信之（防災科研）・三宅弘恵（東大）・藤原広行（防災科研）
- S15-P20 強震動予測手法に関するベンチマークテスト
石川理人・久田嘉章（工学院大）・永野正行（東京理科大）・田原道崇・眞鍋俊平（応用地質）
河路薫（伊藤忠テクノソリューションズ）・中川博人（建築研究所）・野畑有秀（大林組）・山本優（大成建設）
- S15-P21 地震動予測式修正版による確率論的地震ハザードの試算
森川信之・藤原広行（防災科研）・森井雄史・宮腰淳一（清水建設）
- S15-P22 2011 年東日本大震災に伴う人間被害（6）市区町村別にみる年令依存性と特異性
太田裕（東濃地震科研）・小山真紀（岐大流域科研セ）・志垣智子（高齢者住宅研）
- S15-P23 歴史地震学と構造工学の融合によるイスタンブール市の地震リスク評価
瀬瀬一起・鷹野澄・壁谷澤寿海・楠浩一（東大地震研）・鈴木董（東大）

S22. 阪神・淡路大震災から 20 年を迎えた地震研究の到達点と課題

- S22-P01 1995 年神戸地震に伴う断層水の化学組成変化
西尾嘉朗（高知大）・風早康平（産総研）・安原正也（立正大）・岡村慶（高知大）

10月28日（水）10：45～12：15 ポスター会場

ポスターセッション

S04. テクトニクス, S05. 地球熱学, S06. 地殻構造, S07. 地球及び惑星の深部構造と物性,
S12. 岩石実験・地殻応力, S13. 地球化学・地下水, S17. 津波, S19. 地震一般・その他,
S21. 地殻活動ビッグデータが拓く新世界

S04. テクトニクス

- S04-P01 宮城県沖アウターライズにおける構造調査
藤江剛・小平秀一・井和丸光・白井太郎（JAMSTEC）・Anke Dannowski・Martin Thorwart
Ingo Grevemeyer（GEOMAR）・Jason Morgan（Royal Holloway Univ. of London）
- S04-P02 北部日本海溝陸側斜面最下部の変形・発達様式に見られる南北差
中村恭之・小平秀一・山下幹也・藤江剛・三浦誠一（海洋研究開発機構）

- S04-P03 2011年東北沖地震後に福島-山形県境で多発する誘発地震活動に見られるメカニズム解の多様性と応力・摩擦強度の時空間発展
吉田圭佑 (防災科研)・長谷川昭 (東北大予知セ)
- S04-P04 2011年東北地方太平洋沖地震前に海溝軸近傍で観測された低周波微動の検証
片上智史 (京大理)・伊藤喜宏・太田和晃 (京大防災研)・日野亮太・鈴木秀市 (東北大理)
篠原雅尚 (ERI)
- S04-P05 Polarization 解析を用いた東北沖浅部微動の検出に向けて
太田和晃・伊藤喜宏 (京大防災研)・片上智史 (京大理)
日野亮太・鈴木秀市 (東北大理)・篠原雅尚 (東大地震研)
- S04-P06 沈み込むプレートの形状による流体の3次元的移動
森重学 (京大地熱研)
- S04-P07 深海底直上における海水温鉛直勾配の長期連続観測
鈴木秀市・日野亮太・久保田達矢 (東北大理)・伊藤喜宏 (京大防災研)・稲津大祐 (東大海洋ア)
- S04-P08 2012年12月スラブ内ダブルレット地震 (Mw 7.2, 7.2) の津波記録から推定した震源モデルの再検討
久保田達矢・日野亮太・太田雄策・鈴木秀市 (東北大理)・稲津大祐 (東大海洋ア)
- S04-P09 変動地形を用いたチベット高原北東縁クムコル盆地における断層構造の推定
白濱吉起 (産総研)・池田安隆 (東京大学)
- S04-P10 房総半島南部序列外スラスト近傍の露頭にみられる炭酸塩鉱物脈の分布と特徴
染谷一輝・上原真一 (東邦大理)

S05. 地球熱学

- S05-P01 南海沈み込み帯における地形効果を考慮した浅部温度構造
大出晃弘 (東大)・大塚宏徳 (産総研)・喜岡新・芦寿一郎 (東大)

S06. 地殻構造

- S06-P01 地震探査から見た大和海盆における地殻内反射とモホ面の特徴
野徹雄・佐藤壮・小平秀一・三浦誠一 (JAMSTEC)・石山達也・佐藤比呂志 (東大地震研)
- S06-P02 北西太平洋における広帯域海底地震観測データに含まれる堆積層および海洋地殻浅部構造の影響
安部祐希・川勝均 (東大地震研)
- S06-P03 日本列島基本構造モデルの構築 - 地形及びプレート境界モデル -
岩崎貴哉・佐藤比呂志・篠原雅尚・石山達也・橋間昭徳 (東京大学地震研究所)
- S06-P04 ピーク遅延時間を利用した立山火山下における減衰構造の推定
岩田晃治・川方裕則・平野史朗 (立命館大)・土井一生 (京大防災研)
- S06-P05 箱根地域で観測された異方性強度の時空間分布
本多亮・行竹洋平 (温地研)・酒井慎一・森田裕一 (東大地震研)・道家涼介・原田昌武 (温地研)
- S06-P06 飯豊山地下の地震波速度及び比抵抗構造
浅森浩一・梅田浩司 (原子力機構)・根木健之 (日鉄鉱コンサル)
- S06-P07 地震発生域の上部・下部地殻の構造的特徴
松原誠 (防災科研)
- S06-P08 磁化層の下限は何を規定しているのか
田中明子 (産総研)
- S06-P09 Velocity Structure and Seismicity in the Region of Induced Earthquakes of Song Tranh Dam, Vietnam
Quoc Cuong Nguyen・James Mori (DPRI, Kyoto Univ.)

- S06-P10 ニュージーランド南島北部の地殻構造
 # 岡田知己 (東北大)・飯尾能久 (京大防災研)・Richard H. Sibson (オタゴ大学)・松本聡 (九州大)
 堀内慎太郎 (気象庁)・Jarg Pettinga (カンタバリー大学)・Stephen Bannister (GNS Science)
 John Townend (VUW)・Martin Reyners (GNS Science)・Francesca C Ghesetti (TerraGeoLogica)
 小菅正裕 (弘前大)・深畑幸俊・濱田優輝 (京大防災研)・平原聡 (東北大)・三浦勉 (京大防災研)
 中元真美 (九州大)・中山貴史 (東北大)・大見士朗・高田陽一郎・山田真澄
 米田格・澤田麻沙代 (京大防災研)
- S06-P11 海域における断層総合評価プロジェクト
 # 金田義行 (名古屋大学)・高橋成実・及川信孝・新井麗・勝山美奈子・安藤五郎
 清水祥四郎・田中恵介 (海洋研究開発機構)・大角恒雄・藤原広行 (防災科学技術研究所)
- S06-P12 南西諸島周辺海域の断層分布と発震機構
 清水祥四郎・# 高橋成実・安藤五郎・新井麗・勝山美奈子・及川信孝・田中恵介・金田義行 (JAMSTEC)
- S06-P13 自然地震および人工地震データによる琉球海溝南部の地震波速度構造
 # 山本揚二郎・高橋努・海宝由佳・石原靖・新井隆太・仲西理子・尾鼻浩一郎
 三浦誠一・小平秀一 (JAMSTEC)・金田義行 (名大)
- S06-P14 南西諸島弧の慶良間海裂近傍の地震学的構造
 # 西澤あずさ・及川光弘・堀内大嗣・岡田千明 (海上保安庁海洋情報部)
- S06-P15 房総沖における自然地震を用いた3次元地震波速度構造
 # 寺田麻美・佐藤利典・水野真理子 (千葉大理)・篠原雅尚・望月公廣・山田知朗 (東大地震研)
 植平賢司・真保敬 (防災科研)・町田祐弥・小平秀一 (JAMSTEC)・日野亮太・東龍介 (東北大大理)
 村井芳夫 (北大大理)・伊藤喜宏 (京大防災研)・八木原寛 (鹿大理工)・平田賢治 (気象研)
- S06-P16 DONET 記録を用いた脈動帯域における海底変位と水圧の振幅比の推定
 # 利根川貴志・荒木英一郎・木村俊則・中村武史 (JAMSTEC)
- S06-P17 高分解能反射イメージングから得られた南海トラフ前縁断層形状
 # 山下幹也・仲西理子・中村恭之・三浦誠一・小平秀一・金田義行 (海洋研究開発機構)

S07. 地球及び惑星の深部構造と物性

- S07-P01 大陸域におけるリソスフェア内不連続面と鉛直異方性
 # 吉澤和範 (北大大理)
- S07-P02 Hi-net で計測される SKS splitting parameter のモデリング II
 # 小川直人・川勝均・竹内希 (東大地震研)・汐見勝彦 (防災科研)
- S07-P03 海域/陸域における Love 波の基本・1次高次モード励起効率の違い
 # 竹尾明子・川勝均・西田究・一瀬建日 (東大地震研)

S12. 岩石実験・地殻応力

- S12-P01 1軸プレスを用いた断層滑り伝播実験
 # 溝口一生 (電中研)
- S12-P02 亀裂を含んだ斑レイ岩の弾性波速度および V_p/V_s 比の間隙圧依存性
 # 西村佳也・上原真一 (東邦大理)・溝口一生 (電中研)
- S12-P03 花崗岩試料に透過させた弾性波の後続相の走時について
 # 今堀敦史・川方裕則・平野史朗 (立命館大学理工)・吉光奈奈 (東大地震研)・高橋直樹 (三井住友建設)
- S12-P04 土層実験における弾性波の計測
 # 中山雅之・川方裕則 (立命館大)・土井一生 (京大防災研)・高橋直樹 (三井住友建設)
- S12-P05 地震性すべりに伴う炭質物の機械的粉碎・熱分解による断層ガウジ黒色化
 # 金木俊也・廣野哲朗 (大阪大学)

- S12-P06 紀伊半島四万十帯日高川層群に発達するプレート境界型断層における鉱物・化学組成について
小川丈彰・加藤尚希・廣野哲朗 (大阪大)
- S12-P07 プレート境界断層における岩石の色と含有鉱物および地震に伴う化学反応との関連性
中野友貴・廣野哲朗 (大阪大学)
- S12-P08 地震時における断層での焼結作用およびその実験的再現
土野池直哉・廣野哲朗 (大阪大)

S13. 地球化学・地下水

- S13-P01 東北地方太平洋沖地震による岩盤の透水性変化～透水性変化の深度依存性について～
木下千裕・加納靖之 (京大防災研)・小泉尚嗣 (産総研)・伊藤久男

S17. 津波

- S17-P01 スタンドアロン型津波警報器の試作 (2)
勝間田明男・林豊・宮岡一樹・対馬弘晃 (気象研究所)・馬場俊孝 (徳島大学)
- S17-P02 衛星画像を用いた浅海域の海底地形データの作成 - 津波シミュレーションへの活用に向けて
松本良浩 (海洋情報部)・佐川龍之 (RESTEC)・平岩恒廣 (日本水路協会)
- S17-P03 高分解能・高速サンプリング自己浮上式海底水圧計の開発とその実海域観測
平田賢治 (防災科研)・山崎明 (地磁気観測所)・# 対馬弘晃 (気象研)・松原忠泰 (倉橋護謨工業)
- S17-P04 沿岸津波波形の高精度評価に基づく津波浸水の高解像度再現計算
大石裕介 (富士通研)・今村文彦・菅原大助 (東北大災害科学国際研)・古村孝志 (東大地震研)
- S17-P05 Inversion for Sea Surface Displacement of the 2011 Tohoku Tsunami
Tungcheng Ho・Kenji Satake (ERI, Univ. Tokyo)
- S17-P06 史料に基づいた 1611 年慶長三陸地震の津波波源の考察
福原絃太・谷岡勇市郎 (北大理)
- S17-P07 日本海で発生した M7 クラスの地震の津波波形の再現
室谷智子 (国立科学博物館)・佐竹健治・原田智也 (東大地震研)
- S17-P08 積丹半島沖震源域を対象とした断層モデルの検証
大角恒雄 (防災科研)・# 齊藤龍・村田泰洋 (国際航業)・乗松君衣・松山尚典 (応用地質)
藤原広行 (防災科研)
- S17-P09 日本全国を対象とした確率論的津波ハザード評価のための津波予測解析
村田泰洋・# 齊藤龍・井上拓也・高山淳平・村嶋陽一 (国際航業)・松山尚典 (応用地質)
秋山伸一 (CTC)・中村洋光・平田賢治・藤原広行 (防災科研)
- S17-P10 南海トラフ沿いで発生するプレート境界地震による確率論的津波ハザード評価
是永真理子・阿部雄太・秋山伸一 (CTC)・松山尚典 (応用地質)・村嶋陽一 (国際航業)
藤原広行 (防災科研)
- S17-P11 安政東海地震津波 (1854) における南伊勢地域西部の被害
鳴橋竜太郎・原田智也・佐竹健治 (東大地震研)
- S17-P12 ロシア沿海州に残された古地震の痕跡
西村裕一 (北海道大学)・Nadia G. Razjigaeva・Larisa A. Ganzey
Tatiana A. Grebennikova (Pacific Geographical Institute, Russian Academy of Sciences, Russia)
Victor M. Kaistrenko・Alexei O. Gorbunov (IMGG, Russian Academy of Sciences, Russia)

S19. 地震一般・その他

- S19-P01 S-net および Hi-net 観測点を用いた震源決定シミュレーション
眞保敬・植平賢司・金沢敏彦・望月将志・藤本博己・野口伸一・功刀卓・汐見勝彦・青井真
関口渉次・松本拓己・岡田義光 (防災科研)・篠原雅尚・山田知朗 (東大地震研)

- S19-P02 高周波震動継続時間と変位振幅を用いたマグニチュードの性質
原辰彦 (建築研)
- S19-P03 海底傾斜が T-phase 発生に与える影響
干畑まい・古村孝志 (東大地震研)
- S19-P04 確率論的地震動ハザード評価における活断層の複数区間の連動のモデル化に関する検討
大島光貴・奥村俊彦・宮腰淳一・森井雄史 (清水建設)・藤原広行・森川信之 (防災科研)
- S19-P05 福井平野西縁部に関する一考察
岡本拓夫 (福井高専)・斎川清一 (福井県教育研)・谷口溪 (福大院工)
- S19-P06 気象・地象・水象統合モニタリングシステムの構築
山田真澄・松四雄騎 (京大防災研)・荒木正之 (aLab)・堀内茂木 (ホームサイスマメータ)
- S19-P07 常時微動の鉛直アレイ観測に基づく超高層ビルにおけるせん断波伝播の解析
王欣 (東北大災害研)・入倉孝次郎 (愛工大防災セ)・正木和明 (愛工大)
久田嘉章 (工学院大学)・源栄正人 (東北大災害研)

S21. 地殻活動ビッグデータが拓く新世界

- S21-P01 First Version of Japan Unified High-resolution Relocated Catalog for Earthquakes (JUICE Project)
Tomoko Eilizabeth Yano・Tetsuya Takeda・Makoto Matsubara・Katsuhiko Shiomi (NIED)
- S21-P02 防災科研 Hi-net 観測点におけるサイト増幅特性
上野友岳・齊藤竜彦・汐見勝彦 (防災科研)
- S21-P03 首都圏地震動イメージング: 水平成層構造の解析解を用いた手法の検証
加納将行・長尾大道 (東大地震研)・石川大智 (東大情報理工)・酒井慎一・中川茂樹 (東大地震研)
本多亮 (温地研)・木村尚紀 (防災科研)・堀宗朗・平田直 (東大地震研)
- S21-P04 変位空間勾配から見るプレート間カップリングの時空間変化
飯沼卓史 (JAMSTEC)
- S21-P05 2011 年東北沖地震による地殻変動に対する日本列島域の弾性構造の近地効果と遠地効果
橋間昭徳 (東大地震研)・T.W. Becker (USC)・A. Freed (パーデュー大学)・佐藤比呂志 (東大地震研)
D. Okaya (USC)・水藤尚・矢来博司 (国土地理院)・松原誠・武田哲也 (防災科技研)
石山達也・岩崎貴哉 (東大地震研)
- S21-P06 フレッツ網における WIN パケットの欠落について
大竹和生 (気象大学校)